

平成 28 年度

弘前市・つがる地域の大学生・企業の  
就業に関する意識調査報告書

2017年6月  
弘前大学人文社会科学部

弘前大学特定プロジェクト教育研究センター

地域未来創生センター

— Innovative Regional Research Center —

## はじめに

本報告書は、2015年に引き続き、弘前大学地域未来創生センターと弘前市の連携による調査・研究事業の一環として行うもので、弘前市内の大学に在学中の大学生と市内に事業所を置く企業の皆様に、地元大卒者の雇用実態を把握する目的で行った『大学生の地元意識と就業に関する意識調査（大学生向け）』と『企業の地元大卒者の雇用実態に関する意識調査（企業向け）』の結果を取りまとめたものであります。

人口減少問題は、弘前市にとって解決が急がれる最重要課題の一つとなっています。なかでも、20～24歳の若年者の人口流出が顕著であります。このような人口流出の流れを変え、若年者の地元定着を促進させるために、市内の大学生・企業の就職に関する正確な実態調査が必要不可欠であります。調査を通じて、地元就職希望者の割合や希望理由、希望しない理由、地元企業の必要な人材像、必要なスキルなどを正確に把握し、市内の大卒者の労働市場の需要と供給量、ミスマッチの有無とその理由を明らかにすることが求められます。

本調査報告書が、若年者の地元定着支援策を模索し、若年者人口流出を食い止める有効な対策を立案する上で貴重な基礎資料として一助になれば幸いです。

この調査にあたり、ご協力いただきました皆さまや関係機関などに、心から感謝申し上げます。

2017年6月

弘前大学特定プロジェクト教育研究センター  
地域未来創生センター長 李 永 俊

# 目 次

はじめに

<b>第1章 調査の概要</b>	1
1. 調査の目的	1
2. 調査方法	1
3. 報告書の構成	5
<b>第2章 弘前市の大卒労働市場の実態</b>	7
1. はじめに	7
2. 大卒労働供給量	7
3. 大卒労働需要量	11
4. 小括	14
<b>第3章 弘前における大学生の地域志向性</b>	15
1. はじめに	15
2. 弘前の大学生の就業地選択	15
3. 就業希望と関わる働くことの意味・地域の意味	18
4. 小括	19
<b>第4章 企業はどのような人材を求めるのか？ —企業が求職者に求めることと大学生の資格保有状況—</b>	20
1. はじめに	20
2. 企業による大卒者採用状況	20
3. 企業類型別の求める人材像	22
4. 大学生の就職準備度	26
5. 小括	28
<b>付 録</b>	30
回答者集計表	30
回答者用質問紙	46

# 第1章 調査の概要

李 永 俊

## 1. 調査の目的

この地域における若年者の県外流出を抑制し、地元定着を促進するための対策検討の基礎資料として活用することを目的として、弘前市内の大学に在学中の大学生の地元意識と就業に関する意識と、市内企業の地元大学卒業者の雇用実態に関する意識調査を実施した。この調査は、弘前大学地域未来創生センターと弘前市との共同調査・研究事業の一環として行うものである。

## 2. 調査方法

調査は大学生を対象とした「大学生の地元意識と就業に関する意識調査」と地元企業を対象とした「企業の地元大卒者の雇用実態に関する意識調査」に分けて実施された。それぞれの調査方法の概要は以下のとおりである。

### 2-1. 大学生の地元意識と就業に関する意識調査

#### ・調査地点と回答者数

調査対象地域は、弘前市内の4つの大学に在学中の3年生全員、1490名を対象に実施した。

#### ・対象者と抽出方法

対象大学に在学中の3年生全員を調査対象とした。サンプルの抽出は行わず、全数調査を実施した。

#### ・調査法

基本的にはゼミナール単位で配布し、ゼミナール担当教員に回収をお願いした。一部の学部においては、ゼミナールではなく3年生を対象とした授業の中で配布し、回収した。

#### ・調査期間

2016年12月

・調査結果の概要

○ 回収状況

対象者からの回答は 1037 名で、有効回答率は 1037/1490 で 69.6%だった。

○ 回答者のプロフィール

表 1-1 回答者の性別

	度数(人数)	構成比(%)
男性	508	49.0
女性	525	50.6
不明	4	0.4
合計	1037	100.0

表 1-2 回答者の所属大学

	度数(人数)	構成比(%)
弘前大学	917	88.4
弘前医療福祉大学	15	1.5
東北女子大学	75	7.2
弘前学院大学	24	2.3
不明	6	0.6
合計	1037	100.0

表 1-3 回答者の所属学部

	度数(人数)	構成比(%)
人文学部	250	24.1
教育学部	144	13.9
理工学部	211	20.4
農学生命科学部	118	11.4
医学部保健学科	194	18.7
保健学部	13	1.3
家政学部	76	7.3
社会福祉学部	13	1.3
文学部	11	1.1
看護学部	0	0.0
不明	7	0.7
合計	1037	100.0

表 1-4 回答者の実家の所在地

	度数(人数)	構成比(%)
北海道	251	24.2
青森県(弘前市・つがる地域)	328	31.6
青森県(弘前市・つがる地域以外)	153	14.8
岩手県	86	8.3
秋田県	70	6.8
宮城県	27	2.6
山形県	10	1.0
福島県	6	0.6
関東甲信	69	6.7
東海・北陸	18	1.7
近畿	6	0.6
中国・四国	1	0.1
九州・沖縄	4	0.4
外国	2	0.2
不明	6	0.6
合計	1037	100.0

## 2-2. 企業の地元大卒者の雇用実態に関する意識調査

### ・調査地点と回答者数

調査対象地域は、弘前市内に限定した。回答者数は、「弘前市法人台帳」から抽出した 500 事業所であった。

### ・対象者と抽出方法

対象者は弘前市内に事業所を置く企業を調査対象とし、サンプルの抽出は「弘前市法人台帳」に登録している企業の中から従業員規模別に層化を行い、等間隔抽出法で抽出した。

### ・調査法

郵送による質問紙法を用いた。

### ・調査期間

2016 年 12 月

### ・調査結果の概要

#### ○ 回収状況

対象者からの回答は 237 だったが、住所不明などの理由で返送されてきた 17 通を調査対象から取り除いて、有効回答率は 220、有効回答率は 220/483 で 45.5%だった。

#### ○ 回答者のプロフィール

表 1-5 本社の従業員規模別

	度数(事業所数)	構成比(%)
1000人以上	19	8.6
500~999人	8	3.6
300~499人	6	2.7
100~299人	14	6.4
50~99人	19	8.6
30~49人	15	6.8
5~29人	118	53.6
0~4人	16	7.3
無回答	5	2.3
合計	220	100.0

表 1-6 業種別

	度数(事業所数)	構成比(%)
公務	0	0.0
農林漁業	7	3.2
建設業	31	14.1
製造業	21	9.6
電気・ガス・水道業	3	1.4
運輸・通信業	7	3.2
卸売・小売業	68	30.9
サービス業	33	15.0
金融・保険業	7	3.2
不動産業	3	1.4
教育・学習支援業	1	0.5
医療・福祉	22	10.0
飲食業・宿泊業	11	5.0
その他	2	0.9
無回答	4	1.8
合計	220	100.0

### 3. 報告書の構成

本報告書は本章を含めて、全 4 章から構成されている。調査結果はいくつからの視点で分析を行い、各章にまとめられている。ここでは各章の概要を紹介したい。

第 2 章では、調査結果を用いて、弘前市およびつがる地域の大学卒業生の労働市場の需給の状況を明らかにした。まず、弘前市・つがる地域での勤務を希望している大学生の希望業種をみると、医療・福祉、教育・学習支援業、そして公務の順に高くなっていることが分かる。労働需要の業種別実績をみると、金融・保険業が最も多くの大卒者を採用している。

そして、希望ベースで見たこの地域の労働需給のバランスでは、金融・保険業、農林漁業において、需給が一致しているだけで、他の業種においては需給のミスマッチが大きいことが明らかになった。労働供給が過多となっており、人材の流出が懸念される分野は、教育・学習支援や医療・福祉で、人手が不足しているのは、卸売・小売業、サービス業、製造業の業種である。教育・学習支援や医療・福祉分野は域内で業種間の人材の転用が難しいと思われる。そのため、各産業の活性化や人手不足の業種については、大学生の業界への理解を高めるための努力が必要であると言える。



第 3 章では弘前市内の大学生が希望する就職先地域について報告する。弘前市・つがる地域で積極的に就職を希望する積極層は全体の 9.6%、条件が合えば希望する条件層は 36.9%、弘前市・つがる地域での就職を希望しない層は 53.6%であった。これは前年度調査とほぼ同様の結果であった。弘前地域の選好は、当該地域に対する心理的安心感や慣れ親しみが理由として多くあげられ、別地域の選好は、働きたい企業の有無が理由として挙げられていた。「地域が好き」という理由は両者で多く選ばれていた。地域に対するイメージとして、弘前地域積極的志向層では、「田舎」「地元」「活性化」「農業」が、条件付志向層は「人」「コミュニティ」が、地域外志向層では「地方」「過疎」が特徴的であった。弘前地域で条件が合えば働きたいと思っている学生は、積極的に弘前地域を志向する層より人数が多く、また、弘前で就職か地域外での就職を迷っている層だとも考えられる。したがって、この層に対する働きかけは重要となるだろう。学生生活の中で人との交流やコミュニティ形成にかかわる体験プログラムを組むことが有用ではないか。一方、学生が考える「働きたい企業」の内容を精査し、その内容を弘前地域の中でサポートする施策も必要だと思われる。

第 4 章では、企業はどのような人材を求めているのかを、企業が求職者に求めることと大学生の資格保有状況を手掛り

検討した。結果をまとめると以下のとおりである。

第 1 に、来年度以降の大卒者を正社員として採用したいと希望している企業の多くが、大卒者を採用したい理由として挙げているのは、「大学・大学院卒業者の専門知識が必要だから」であり、次に多く挙げられた項目は「マナーや社会常識があるから」であった。大卒の求職側に求人側が求めるのは仕事をするうえでもっとも基本になる専門知識であるといえる。第 2 に、もっとも多くの企業が大卒の求職側に「対人コミュニケーション能力」を求めていることが確認でき、これは、前回調査とも同様の傾向であった。「採用時に重視すること」に対して、10 年連続で「コミュニケーション能力」が第 1 位であるという日本経済団体連合会の調査結果（中里，2015）からもわかるように、「コミュニケーション能力」は求職側にとって備えるべき必修項目であるともいえよう。第 3 に、大卒者の採用を希望したが、公募がなかった企業が、「実績がある」ことを理由に来年度以降も大卒者の正社員採用を希望していることが確認できた。求職側としては、企業が要求する条件を十分に検討し、採用にむけてアクションを起こし、自ら採用されるチャンスをつかむことが重要であるといえよう。

## 第2章 弘前市の大卒労働市場の実態

李 永 俊

### 1. はじめに

ここでは、弘前市内の大学生と企業に対する調査結果を用いて、弘前市の大卒労働市場の需給の実態を把握することで、大学卒業後の定着可能性を模索する。

### 2. 大卒労働供給量

ここでは、「大学生の地元意識と就業に関する意識調査」の結果を用いて、弘前市の大卒労働市場の労働供給量を測定する。弘前市内には高等教育機関として、4つの4年制大学と3つの短期大学がある。上記の調査では、4つの4年制大学の3年次在学学生全員を調査対象とした。

労働供給とは、生産のために投入される人的資本の量のことで、労働供給量は個々の労働者が提供しようとする労働時間と労働者数で計測される。しかし、いわゆる正規雇用者として働く場合は、労働時間を個人が選択することは一般的ではない。対象者に希望する雇用形態を尋ねたところ、「正規雇用にこだわる」が75.7%（785名）、「どちらかといえば正規雇用を希望する」が22.2%（230名）で、97.9%が正規雇用を希望している。したがって、ここでは労働時間は無視し、この地域で働こうとする大卒者の数を供給量の測定に単位としたい。

表2-1は実家の所在地別に働きたい希望地域を整理したものである。まず、注目したいのは、就業希望地域の合計数である。弘前市内勤務を希望している者は、全体の14.2%の138名に過ぎない。つがる地域では4.2%、そのいずれかを選んだ者は29.4%である。合計すると、この地域の大卒者のうち47.8%が、弘前市もしくはつがる地域内で働くことを希望している。逆に言うところこの地域の大卒者の5割強はこの地域外で働くことを希望していることになる。せつかく、この地域を選んで転入してきたにもかかわらず、その半数は大学卒業後にこの地域から転出してしまう傾向があることがわかる。2015年度の調査結果もほぼ同じ結果となった。

また、転出希望者の実家所在地に注目すると、北海道に実家がある者は51.5%が北海道へ戻って就業することを希望している。また、青森県以外の東北地域に実家がある者は、50.8%、関東に実家がある者は59.3%、その他の地域に実家がある者は57.9%で、それぞれ5~6割の大卒者が卒業後には実家の所在地で就業することを希望していることが分かる。2015年度の結果と比較すると誤差の範囲内ではあるが、若干地元志向が強まっている

表 2-1 実家所在地別就業希望地域

(単位:人数)

就業希望地域	実家の所在地						合計
	北海道	弘前市・つがる地域	その他青森県内	青森県以外の東北地域	関東甲信	その他	
北海道	124 (51.5)	2 (0.6)	3 (2.0)	3 (1.6)	2 (3.4)	0 (0.0)	134 (13.8)
弘前市内希望	24 (10.0)	70 (22.2)	20 (13.6)	20 (10.6)	3 (5.1)	1 (5.3)	138 (14.2)
つがる地域希望	1 (0.4)	32 (10.2)	3 (2.0)	2 (1.1)	3 (5.1)	0 (0.0)	41 (4.2)
弘前市またはつがる地域	35 (14.5)	141 (44.8)	51 (34.7)	38 (20.1)	16 (27.1)	4 (21.1)	285 (29.4)
その他の青森県内	0 (0.0)	2 (0.6)	20 (13.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	22 (2.3)
青森県以外の東北地方	4 (1.7)	17 (5.4)	13 (8.8)	96 (50.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	130 (13.4)
東京を含む関東	52 (21.6)	49 (15.6)	36 (24.5)	30 (15.9)	35 (59.3)	11 (57.9)	213 (22.0)
その他	1 (0.4)	2 (0.6)	1 (0.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (15.8)	7 (0.7)
合計	241 (100.0)	315 (100.0)	147 (100.0)	189 (100.0)	59 (100.0)	19 (100.0)	970 (100.0)

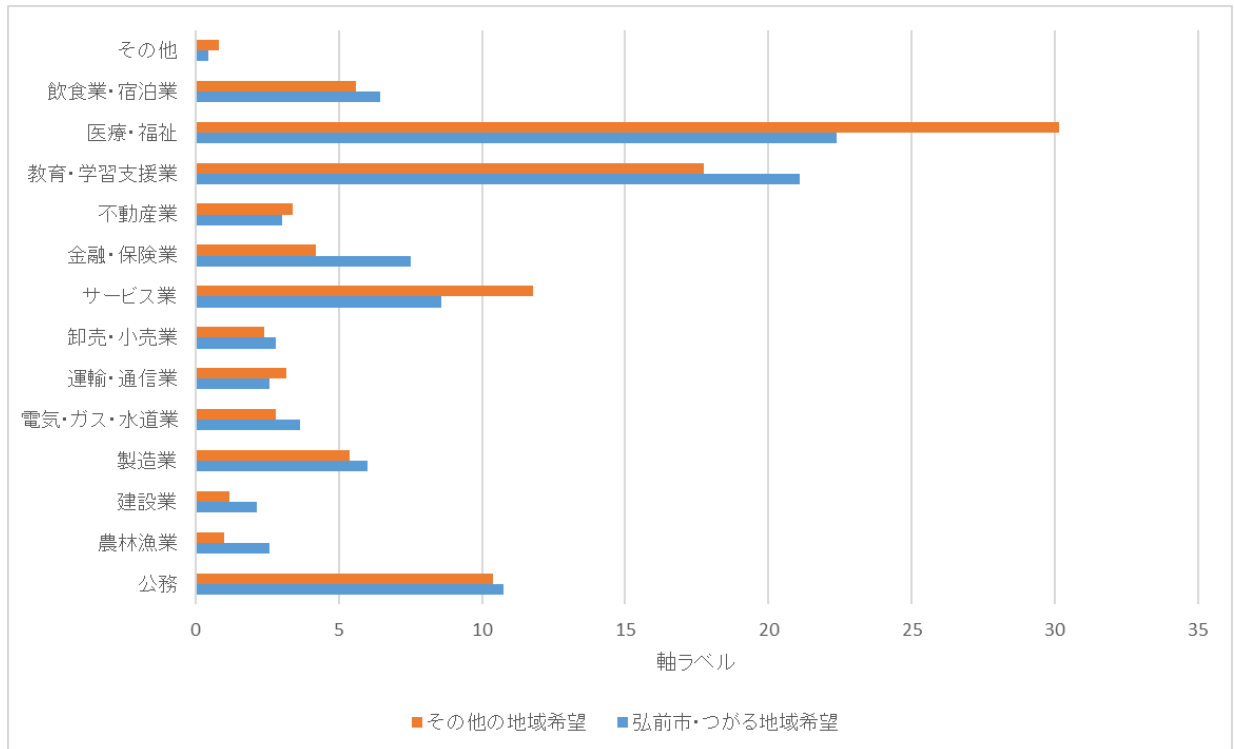
注) 下段の括弧の中は構成比である。カイ二乗検定で1%水準で有意( $p < 0.000$ )である。

ように思われる。このような傾向は、李・杉浦（2012）で指摘しているように、地元へ回帰する一番の理由は実家の存在であることから理解できる。また、樋口（1991）は少子化の影響で、若年者の地元志向が強まっていると指摘している。少子化が若者の地元への回帰に影響していることは容易に考えられる。

次に、希望業種別の労働供給量を見てみよう。ここからは、焦点を明確にするために、就業希望地域を弘前市・つがる地域とその他の地域の二つに区分して分析を進める。

図 2-1 は就業希望地域別に希望業種の割合を示したものである。まず、両地域ともに最も希望が多かったのは、医療・福祉業種で、少子高齢化に伴うこの分野での労働需要の急増が、労働供給行動にも反映されているような結果となった。次に多いのは、教育・学習支援業である。上記の両分野については、大学教育と職業選択が密接につながっており、希望業種が明確になっていることが、希望者の割合が高い理由となっていると思われる。次に多いのは、公務で弘前市・つがる地域希望者では 10.4%、その他の地域希望者では 10.8%で割合が高くなっている。2015 年の調査と比較すると、公務の希望者が若干減少しており、最近の大卒新卒市場が人手不足の売り手市場となっていることを反映していると思われる。その次には金融・保険業、サービス業、製造業の順になっている。ただ、弘前市・つがる地域を希望している学生と、その他の地域での就業を希望している学生との間に統計的な有意な差は見られず、大卒者の希望業種と就業希望地域との間に関係性は見当たらなかった。言い換えると、地域の産業構造に地域の特性が活かしていないと評価することができる。

図 2-1 希望業種別労働供給量



注) 複数回答。

表 2-2 学部別の希望職種 (弘前市・つがる地域希望者)

	(単位: %)				
	人文社会学系	教育学部	理工系	農学系	医療・看護系
公務	15.6	10.5	10.0	11.5	1.3
農林漁業	1.2	0.0	0.0	19.2	0.0
建設業	0.6	1.5	2.0	11.5	0.0
製造業	0.6	1.5	20.0	11.5	0.0
電気・ガス・水道業	0.6	0.0	16.0	0.0	0.0
運輸・通信業	1.2	1.5	9.0	0.0	0.0
卸売・小売業	3.0	1.5	1.0	11.5	0.0
サービス業	13.2	4.5	7.0	11.5	1.3
金融・保険業	15.0	1.5	7.0	3.9	0.0
不動産業	5.4	0.0	3.0	3.9	0.0
教育・学習支援業	24.0	64.2	9.0	5.8	2.6
医療・福祉	12.6	6.0	6.0	5.8	90.9
飲食業・宿泊業	6.6	7.5	9.0	3.9	3.9
その他	0.6	0.0	1.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
合計(人数)	167	67	100	52	77

注) カイニ乗検定で1%水準で有意( $p < 0.000$ )である。

表 2-3 学部別の希望職種（その他の地域希望者）

	(単位:%)				
	人文社会学系	教育学部	理工系	農学系	医療・看護系
公務	15.7	13.9	9.3	15.7	0.0
農林漁業	0.0	0.0	0.0	9.8	0.0
建設業	0.6	0.0	1.0	7.8	0.0
製造業	1.8	0.0	19.6	9.8	0.0
電気・ガス・水道業	0.6	0.0	12.4	2.0	0.0
運輸・通信業	0.6	0.0	14.4	2.0	0.0
卸売・小売業	3.6	3.1	0.0	7.8	0.0
サービス業	21.1	9.2	10.3	15.7	0.0
金融・保険業	7.2	1.5	7.2	2.0	0.0
不動産業	9.0	0.0	1.0	2.0	0.0
教育・学習支援業	15.1	64.6	15.5	11.8	0.0
医療・福祉	10.8	4.6	7.2	5.9	99.2
飲食業・宿泊業	12.1	3.1	1.0	7.8	0.8
その他	1.8	0.0	1.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
合計(人数)	166	65	97	51	120

注)カイ二乗検定で1%水準で有意( $p < 0.000$ )である。

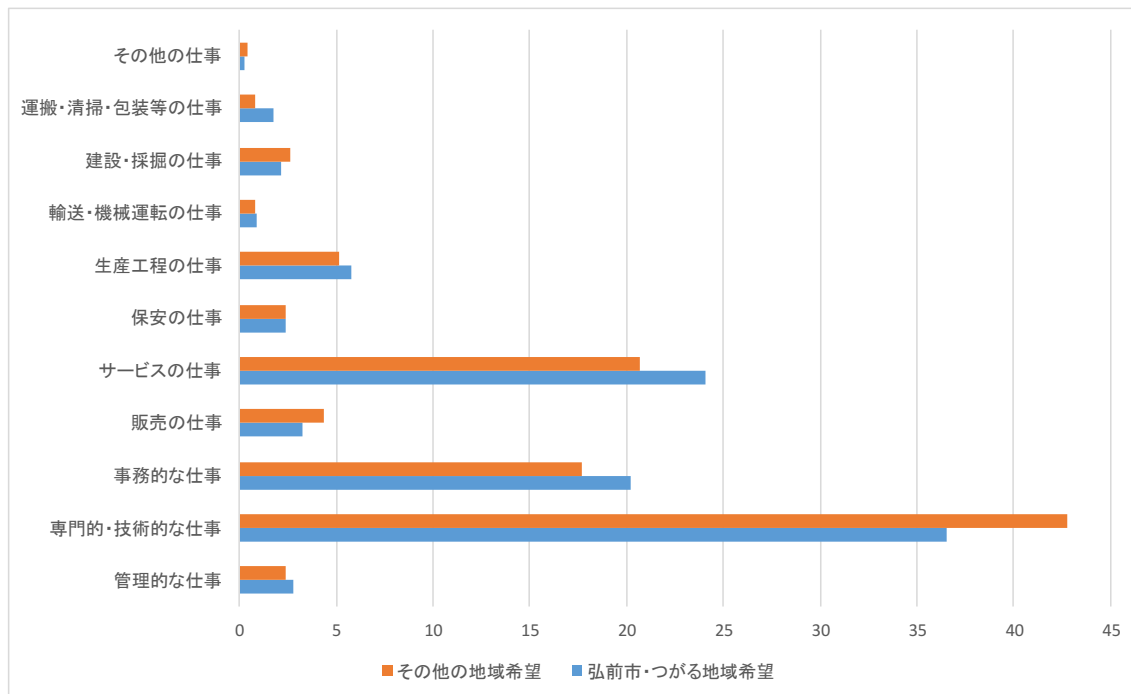
次に、学部別の希望職種を見てみよう。表 2-2 と 2-3 は学部別に希望業種を就業希望地域別に整理したものである。まず、両地域ともに医療・看護系の学部はほぼ全員が医療・福祉系の業種を希望しており、大学教育と職業が直決していることが分かる。ただ、ここで指摘したいのは弘前市・つがる地域を希望している場合は、1割程度が医療・福祉系以外の職種を選択している点である。そして、もう一点は、医療・福祉系において半数以上がこの地域外での就業を希望している点である。この地域においても、今後ますます高齢化が進行することが予想される。また、市が政策的に進めようとする「弘前版 CCRC」構想などにおいては、首都圏から中高年者を誘致する計画を進めており、この計画を成功させるためには、優秀な医療・介護の労働力の確保が必要不可欠である。その点で考えると、医療・介護を専門的に勉強した学生の半数が流出しているという実態は深刻に受け止めなければならないと思われる。

次に希望業種が明確にしているのは、教育学部である。教育学部の学生は、教育・学習支援系の業種を6割強の学生が希望している。その次に、公務が占めており、その他の業種については1割未満となっている。農学系と理工系では、それぞれ農林漁業と製造業の割合が高いことが特徴的である。最後に、人文社会学系では、教育・学習支援が最も高く、続いて公務となっている。その次は、弘前市つがる地域では、飲食業・宿泊業、金融・保険業、サービス業の順に、その他の地域希望者ではサービス業、金融・保険業、飲食業・宿泊業となっている。それぞれの専門に沿って業種を選択していることがよくわかる。

図 2-2 は、希望地域別に働きたい希望の職種を尋ねた結果である。希望地域間の統計的な差はみられず、8割の学生が両地域ともに専門的・技術的な仕事、事務的な仕事、サ

サービスの仕事に集中していることが分かる。

図 2-2 希望職種



注) 複数回答。

### 3. 大卒労働需要量

ここでは、「企業の地元大卒者の雇用実態に関する意識調査」の結果を用いて、この地域での大卒者の労働需要量を測る。ここでも、労働供給量と同様、正規雇用者としての採用を仮定し、労働時間は無視して労働者数のみで需要量を推計する。

表 2-4 大学・大学院卒者の採用実績

大学・大学院卒者 採用数	企業数	構成比(%)
0	190	86.4
1	19	8.6
2	6	2.7
3	1	0.5
6	2	0.9
9	1	0.5
30	1	0.5
<b>合計</b>	<b>220</b>	<b>100.0</b>

表 2-5 企業規模別採用企業割合

	企業数(社)	構成比(%)
300人以上	1	3.3
100～299人	4	13.3
50～99人	4	13.3
30～49人	3	10.0
5～29人	16	53.3
0～4人	2	6.7
合計	30	100.0

注) 弘前市内の事業所に属する常用労働者数で分類した。

まず、採用実績についてみてみたい。表 2-4 は採用人数別の企業をまとめたものである。過去 1 年間（平成 27 年 11 月～平成 28 年 12 月）の大学・大学院卒者の採用実績を尋ねたところ、採用実績があった企業は回答のあった 220 社のうち 30 社（13.6%）となっている。そして、総採用者数は 85 名となっている。採用人数と企業数は表 2-4 の通りである。採用があった 30 社のうちの 19 社が採用数 1 名で、10 名以上を採用した企業は 1 社のみとなっており、労働需要不足の深刻さがうかがえる。

表 2-5 は弘前市にある事業所に属する常用労働者数を基準に分類した企業規模別に採用企業の割合を示している。表から大卒者の 6 割以上が従業員数 30 名以下の小規模事業所で就業していることが分かる。また、表 2-6 では業種別に採用企業の割合をみたものである。採用が活発なのは卸売・小売業で採用企業の 43.3%を占めている。次に製造業、サービス業、医療・福祉となっている。

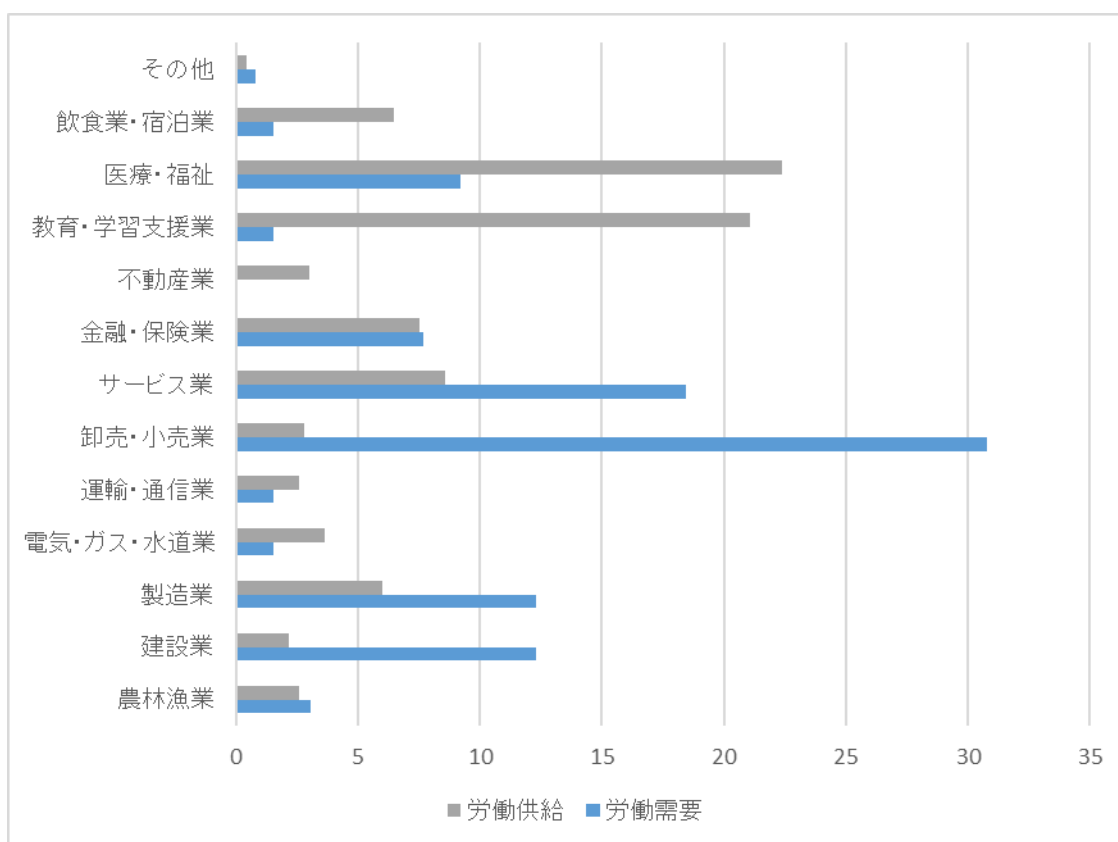
図 2-3 は、希望ベースの労働需要と労働供給の業種別ミスマッチを図示したものである。労働需要は、採用を希望する事業所の産業別割合である。労働供給は弘前市内・つがる地域で働くことを希望している学生の業種別割合である。労働需要においては採用希望人数についての質問が含まれていないので正確な希望人数は把握できていないが、傾向としてどのような業種でミスマッチが生じているのかをみるのには十分なものであると思われる。

まず、注目したいのは、金融・保険業と農林漁業の分野においては需要と供給がほぼ一致しており、労働条件などの調整がうまくいけば市場でのミスマッチは生じないと思われる。しかし、その他の業種においては、需給がミスマッチしており、域内での調整が困難であると思われる。教育・学習支援や医療福祉、飲食業・宿泊業などでは、希望している学生は多くいるにも関わらず、この地域での労働需要が圧倒的に不足していることが分か

表 2-6 業種別大卒者採用企業割合

	企業数(社)	構成比(%)
農林漁業	1	3.3
建設業	2	6.7
製造業	4	13.3
卸売・小売業	13	43.3
サービス業	3	10.0
金融・保険業	2	6.7
医療・福祉	2	6.7
飲食業・宿泊業	2	6.7
不明	1	3.3
合計	30	100.0

図 2-3 業種別需給のミスマッチ





る。他方、需要量が供給量を大きく上回って人手が不足しているのは、卸売・小売業、サービス業、製造業、建設業である。特に、卸売・小売業では労働供給の6倍以上の需要があり、人手不足が深刻な状況であることが分かる。

以上のように、弘前市・つがる地域内では金融・保険業や農林漁業以外の多くの業種で、大卒人材の需給のミスマッチが生じている。このようなミスマッチから、若者の流出が発生することになる。労働者の需要は、各企業の生産活動の結果として発生する派生需要である。つまり、生産活動が十分でなければ、労働需要を喚起することは不可能である。教育・学習支援や医療・福祉の分野では、地域の学力向上や医療・福祉サービスの質を高めることで、生産活動を活性化し、労働需要を喚起することは十分に可能であると思われる。また、飲食業・宿泊業においても、外国人観光客の誘致などの地域を挙げての取り組みが求められる。

また、労働需要が供給を大きく上回っている業種では、大学生の先入観で敬遠をする場合も数多くあると思われる。そのような認識を改めるためには、インターンシップや工場見学、大学生と企業家の交流会などを、大学も地域の産業界も積極的に働きかけて、大学生の地元企業への理解を高めることが重要であると言える。

#### 4. 小括

この章では、大学生と企業に対する調査結果を用いて、弘前市およびつがる地域の大学労働市場の需給の状況を明らかにした。まず、弘前市・つがる地域での勤務を希望している大学生の希望業種をみると、医療・福祉、教育・学習支援業、そして公務の順に高くなっていることが分かる。労働需要の業種別実績をみると、金融・保険業が最も多くの大卒者を採用している。

そして、希望ベースで見たこの地域の労働需給のバランスでは、金融・保険業、農林漁業において、需給が一致しているだけで、他の業種においては需給のミスマッチが大きいことが明らかになった。労働供給が過多となっており、人材の流出が懸念される分野は、教育・学習支援や医療・福祉で、人手が不足しているのは、卸売・小売業、サービス業、製造業の業種である。教育・学習支援や医療・福祉分野は域内で業種間の人材の転用が難しいと思われる。そのため、各産業の活性化や人手不足の業種については、大学生の業界への理解を高めるための努力が必要であると言える。

#### 【参考文献】

太田聡一（2010）『若年者就業の経済学』日本経済新聞出版社

李永俊・杉浦裕昆（2012）「地域間移動と格差問題」『「東京」に出る若者たち－仕事・社会関係・地域間格差』石黒・李・杉浦・山口著、ミネルヴァ書房

樋口美雄（1991）『日本経済と就業行動』東洋経済新報社

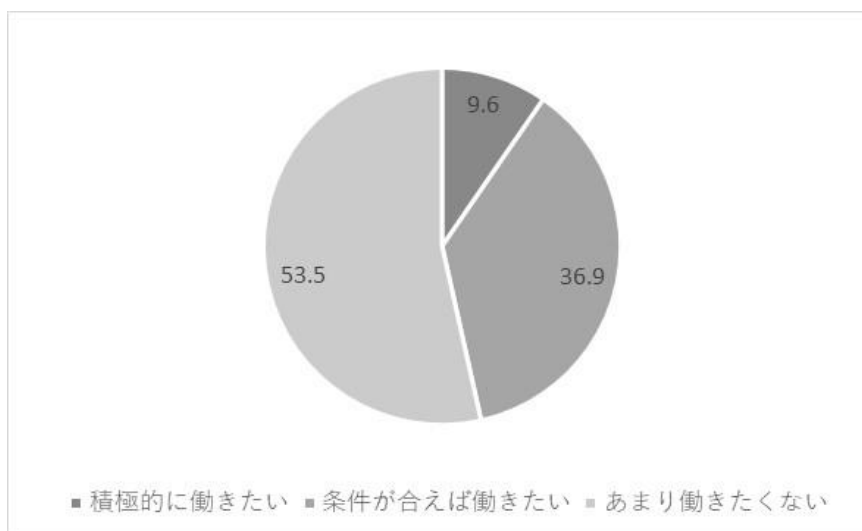
1. はじめに

本章では、弘前市内の大学生が希望する就職先地域について報告する。2015年度の調査からは、弘前市・つがる地域で働きたい学生（以下、弘前地域志向層）と、そうではない学生（以下、地域外志向層）は、大まかに半々の割合に分かれていることが明らかとなった。今回は、2016年度調査データの単純集計結果をもとに、弘前地域志向層と、地域外志向層の意識の内容を報告したい。

2. 弘前の大学生の就業地選択

弘前の大学生が希望する就業地先と、就業地選択の理由を確認しておこう。弘前の大学生のうち、弘前市・つがる地域で積極的に就職を希望する積極層は全体の9.6%であり、条件が合えば希望する消極層は36.9%であった（図3-1）。一方、弘前市・つがる地域での就職を希望しない層は53.6%であった。前年度調査と同様、弘前地域での就職を希望する層、そうでない層は、おおよそ半々に分かれているといえる。

図3-1 弘前市・つがる地域での就業希望（N=1022）



それぞれの学生は、どこに就職したいと考えているのだろうか。図 3-2 は、弘前地域を志向する学生たちの就職希望先地域を示したものである。弘前市内を希望する学生の割合が 29.7%、(弘前市内とつがる地域) どちらでもよいと答えた割合が 61.6%となっている。市内への希望がやや高いものの、とくに希望がないことがうかがえる。図 3-3 は、地域外を志向する学生たちの就職希望地域を示したものである。関東圏が 42.2%と最も多く、ついで、東北地域と北海道が続く。東北と北海道は、地域外を志向する学生全体のうちのそれぞれ 4分の 1 となっている。弘前地域外の就職を希望する学生は、関東圏をその就職先として希望するものが多いようだ。

図 3-2 弘前地域を志向する層の就職希望地域 (N=458)

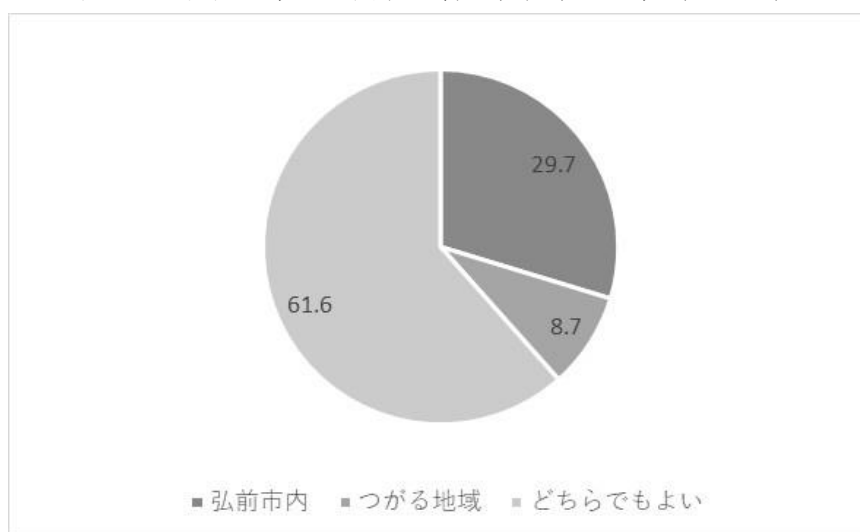
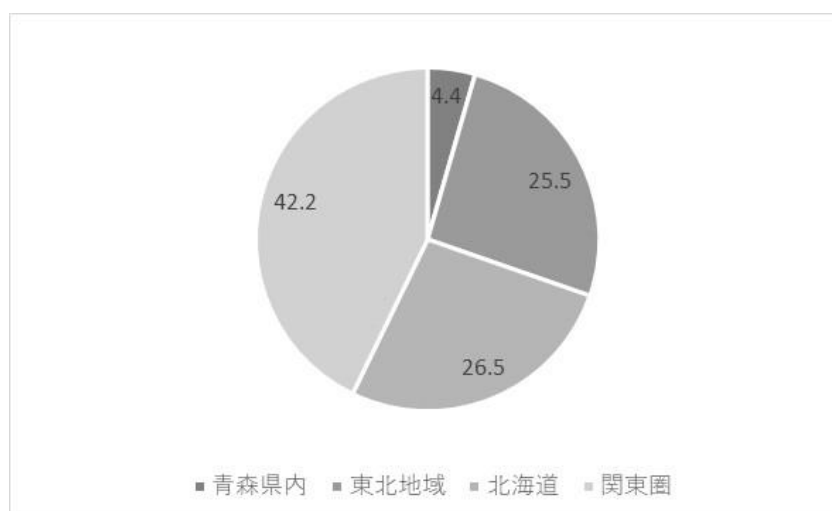


図 3-3 地域外を志向する層の、就職希望地域 (N=498)



続いて、学生が就職したい地域を選択する理由を確認する。弘前市内・つがる地域で働くことについて「積極的に働きたい」、または「条件が合えば働きたい」と答えた学生において、彼・彼女らの希望する地域で働きたい理由（複数回答）を集計した。理由として多く挙げられたのは、「就職後の生活が精神的に楽だと思ふから」（41.8%）、「弘前市・つがる地域が好きだから」（41.0%）であり、「現在住んでいるところに慣れたから」（37.3%）、「知人が多いから」（34.4%）と続く。勤務地の選択には、諸費用や条件よりもむしろ当該地域に対する心理的安心感や慣れ親しみがかかわっていることがうかがえる。

一方、弘前市内・つがる地域で「あまり働きたくない」と答えた学生 540 名において、彼・彼女らの希望する地域で働きたい理由（複数回答）を集計した。もっとも多く選ばれた理由は、「その地域が好きだから」（54.3%）であった。続いて選ばれていた理由は、「希望する企業があるから」（33.0%）、「新しいところで生活してみたいから」（29.8%）であった。地域外志向層は、弘前地域志向層と同様、「地域が好き」という理由が最も多く選んでいた。一方、地域外志向層の特徴としては、働きたい企業をもとに就業地を選択していること、就業地選択に関して精神的安心を求める傾向は比較的低いことが挙げられる。

図 3-4 弘前市・つがる地域で就職を希望する理由（N=475）（複数回答）

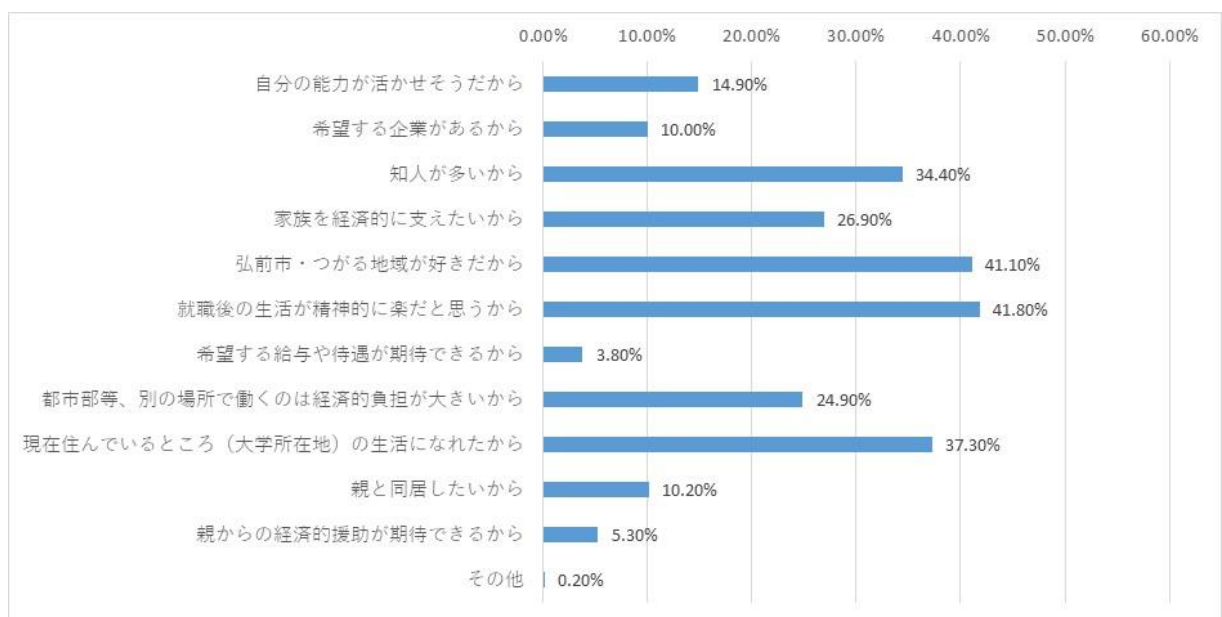
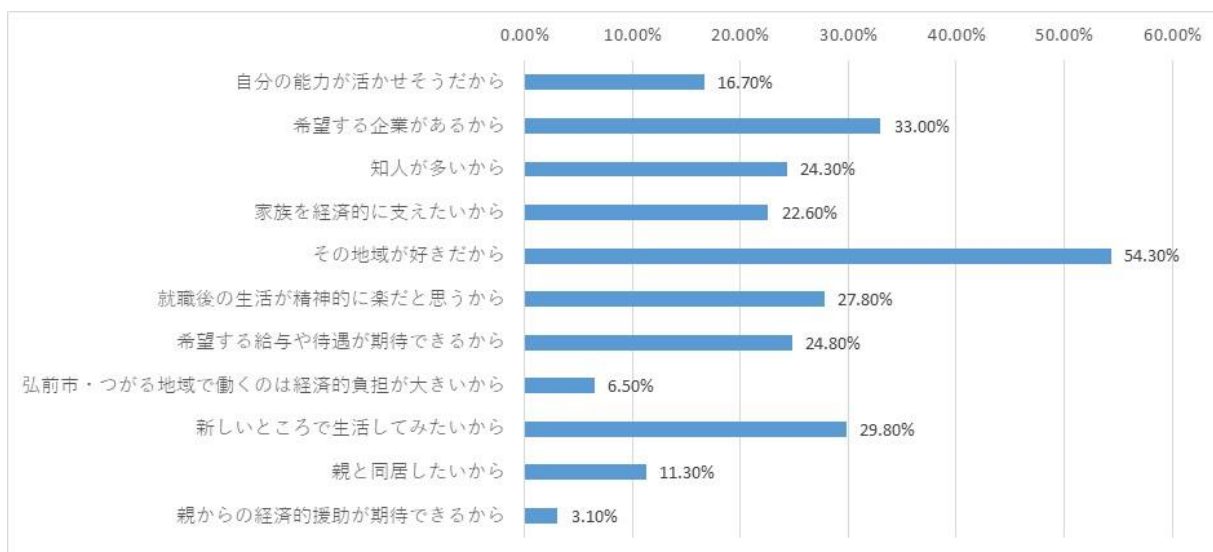


図 3-5 弘前市・つがる地域以外の場所で就職を希望する理由 (N=540) (複数回答)



### 3. 就業希望と関わる働くことの意味・地域の意味

昨年度（2015年度）に、弘前市・つがる地域の大学における3年次大学生に対して行った地元志向調査からは下記の知見が示された。

第一に、学生がどのような範囲を自分の地域と描くのかは、彼・彼女らの出身地に応じて異なっていた。弘前市・つがる地域出身者、あるいは関東甲信越出身者は「弘前市・つがる地域」を自分の地域ととらえる傾向が強く、その他青森県内出身者は「町内」を自分の地域ととらえる傾向が強かった。一方、岩手県や秋田県といった青森県に近接する県の出身者は、「出身地」を自分の地域ととらえる傾向が強かった。

第二に、学生が企業選択の際に重視する条件は、以下の4つの類型に分類された。すなわち、1) やりがいを求める企業希求型、2) 家族・友人との付き合いを重視する家族・友人接着型、3) 環境を重視する勤務条件重視型、4) 勤務地と実力を考慮するスキル自信型の4類型である。

第三に、学生にとっての働くことの意味や地域の意味を含めた包括的な分析から、青森県内への愛着やしがりが強い「青森愛着型」、東北圏内での移動を志向しており専門志向も強い「地域非依存型」、出身地ではなく現在居住する場所に焦点化している「今ココ志向型」の類型が示された。

このように学生がどの場所で働くことを希望するかは、学生にとっての働く意味と関連している。さらには、就業地の希望は「地域」の意味とも関連していると考えられる。今回の調査では地域に対するイメージを自由回答でたずねた。比較的多く言及された語は、表4-1のとおりである。一つ一つの語の登場件数が少ないためあくまで限定的な見立てとなるが、

それぞれの学生層に特徴的に出現していた語は次のとおりである。弘前地域積極的志向層では、「田舎」「地元」「活性化」「農業」が、弘前地域条件付志向層では「人」「コミュニティ」が、地域外志向層では「地方」「過疎」が特徴的であった。

表 4-1 「地域」ときいてイメージする語

語	語の出現件数（総数）	弘前地域積極志向層	弘前地域条件付志向層	地域外志向層
田舎	100	21	25	54
地元	74	26	19	29
活性化	59	10	9	40
地方	49	5	7	37
農業	32	6	5	21
過疎	30	3	6	21
人	30	6	15	9
コミュニティ	29	1	14	14
地域活性化	29	6	3	20
ボランティア	24	5	11	8
住む	22	2	15	5
文化	22	4	4	14
地産	20	7	1	12
りんご	20	7	9	4

#### 4. 小括

弘前地域で条件が合えば働きたいと思っている学生は、積極的に弘前地域を志向する層より人数が多く、また、弘前での就職か地域外での就職を迷っている層だとも考えられる。したがって、この層に対する働きかけは重要となるだろう。条件付き志向層が持つ地域のイメージの1つのあり方として人とのつながりやコミュニティを地域ととらえている。学生生活の中でこうしたコミュニティ形成にかかわる体験プログラムを組むことが有用ではないか。一方、学生が持つ「働きたい企業」の内実を精査し、働きたい企業組織そのものを育てていく施策も同時に必要だと思われる。

## 第4章 企業はどのような人材を求めるのか？ —企業が求職者に求めることと大学生の資格保有状況—

李 秀 眞

### 1. はじめに

本章では、企業が求める人材像と学生の就職準備度について検討する。若者の雇用状況をみると、企業による求人数は卒業者を上回っているにも関わらず就業率は60%程度に留まっているとの報告があり、このような現状の原因として、大学生の大企業志向が挙げられている（伊藤，2013）。

企業はどのような技能・知識を備えた学生を求めるのか、学生は就職のためにどのような技能・知識等を準備しようとするのだろうか。ここでは、求人側と求職側それぞれの立場から、求人側が求職側に求めること、求職側が求人側の要望に応えようとするのかについて検討していく。

### 2. 企業による大卒者採用状況

#### 2-1. 大学・大学院卒業者を採用しなかった理由

今回、調査対象となった弘前市内の220事業所のうち、大学・大学院卒業者を採用していない、かつ採用していない理由がわかる事業所は176社である。具体的に、大学・大学院卒業者（大卒者）の採用がなかった企業が、大卒者を採用しなかった理由をまとめたのが表4-1である。176社のうち、「募集していなかった」企業は129社、「募集したが、応募者がなかった」企業は39社、「応募はあったが、希望する学生がいなかった」企業は5社、「内定を出したが、来てくれなかった」企業は1社、「希望はあったが、どのように募集すればいいかわからなかった」企業は1社である。

表 4-1 大卒者を採用しなかった理由

大卒者を採用しなかった理由	今回調査	前回調査
募集していなかった	129社	168社
募集したが、応募者がなかった	39社	35社
応募はあったが、希望する学生がいなかった	5社	7社
内定を出したが、来てくれなかった	1社	1社
希望はあったが、どのように募集すればいいかわからなかった	1社	5社

2-2. 大卒者を採用しなかった理由と今後採用希望による企業類型

「募集していなかった」、「募集したが、応募者がなかった」、「応募はあったが、希望する学生がいなかった」との理由で大卒者の採用がなかったが、来年度以降の大卒者の正社員採用を希望している企業を対象にして、企業類型を区分し、各類型の企業が求める人材像について検討していく。表 4-2 に示したように、類型 1 企業は 14 社、類型 2 企業は 20 社、類型 3 企業は 3 社である。

表 4-2 来年度以降大卒者の正社員の採用を希望する企業

企業類型別の来年度以降の採用意向		今回調査	前回調査
類型1企業	募集していなかった会社のうち、来年度以降、大卒者の正社員の採用を希望する企業	14社	21社
類型2企業	募集したが、応募者あなかった、うち、来年度以降、大卒者の正社員の採用を希望する企業	20社	15社
類型3企業	応募はあったが、希望する学生がいなかった、うち、来年度以降、大卒者の正社員の採用を希望する企業	3社	5社



### 3. 企業類型別の求める人材像

#### 3-1. 大卒者の正社員の採用を希望する理由

表 4-3 大卒者の正社員の採用を希望する理由

単位：%(度数)

大卒者採用を希望する理由			大卒者の正社員の採用を希望する理由				
			実績があるから	大学・大学院 卒業者の専門 知識が必要だから	大学・大学院 卒業者の就業 意識が高いから	マナーや社会 常識があるから	コミュニ ケーション 能力が高いから
類型1企業	募集していなかった会社のうち、 来年度以降、大卒者の正社員の 採用を希望する企業	今回調査(N=14)	15.4(2)	53.9(7)	30.8(4)	38.5(5)	23.1(3)
		前回調査(N=18)	11.1(2)	44.4(8)	27.8(5)	55.6(10)	27.8(5)
類型2企業	募集したが、応募者がなかった、 うち、来年度以降、大卒者の 正社員の採用を希望する企業	今回調査(N=20)	35.0(7)	50.0(10)	25.0(5)	60.0(12)	45.0(9)
		前回調査(N=15)	20.0(3)	20.0(3)	33.3(5)	53.3(8)	0.0(0)
類型3企業	応募はあったが、希望する学生が いなかった、うち、来年度以降、 大卒者の正社員の採用を希望 する企業	今回調査(N=3)	33.3(1)	0.0(0)	0.0(0)	66.7(2)	33.3(1)
		前回調査(N=5)	20.0(1)	20.0(1)	0.0(0)	40.0(2)	40.0(2)

注：各項目を選択した企業の割合を示したものである。複数回答。

表 4-3 は、類型企業別に、大卒者の正社員採用の希望理由をまとめたものである。＜類型 1 企業＞が大卒者の正社員の採用を希望する理由をみたところ、「大学・大学院卒業者の専門知識が必要だから」を理由として挙げた企業は回答があった 14 社のうち 7 社であり、53.9%を占めている。次に、「マナーや社会常識があるから」を挙げた企業は 5 社で 38.5%である。回答があった 14 社のうち 4 社は「大学・大学院卒業者の就業意識が高いから」、14 社のうち 3 社は「コミュニケーション能力が高いから」を挙げている。前回調査と比べて、「コミュニケーション能力が高いから」を挙げた企業の割合より、「大学・大学院卒業者の専門知識が必要だから」を挙げた企業の割合がやや多い。

＜類型 2 企業＞のうち、「マナーや社会常識があるから」を理由として挙げた企業は 20 社のうち 12 社で、60.0%を占めている。次に 20 社のうち 10 社が挙げた理由は、「大学・大学院卒業者の専門知識が必要だから」である。また、20 社のうち 9 社は「コミュニケーション能力が高いから」を挙げていて、7 社（35.0%）は「実績があるから」を理由として挙げている。昨年度（調査時点からみて）、募集をしたものの応募者がなかった＜類型 2 企業＞において、「実績があるから」が大卒者の正社員採用を希望する理由として挙げられた

のは、企業は継続的に大卒者の採用を希望していると解釈できよう。したがって、求職側としては、企業が要求する条件を十分に検討し、採用にむけてアクションを起こすことは自ら職に就くチャンスをつかむのに重要であると考えられる。

＜類型 3 企業＞は、「マナーや社会常識があるから」、を理由として挙げた企業が 3 社のうち 2 社である。

来年度以降の大卒者を正社員として採用したいと希望している企業がもっとも求めている人材としては、「大学・大学院卒業者の専門知識」を必要としている様子が伺える。

### 3-2. 企業が学生に求める技能・知識と大学生本人による自分の技能・知識の自己判断

表 4-4 は、より具体的に企業が学生に求める技能・知識と大学生本人による自分の技能・知識の自己判断についてまとめたものである。まず、企業が学生に求める技能・知識についてみる。＜類型 1 企業＞が求める技能・知識を回答が多い順に並べると、「対人コミュニケーション能力」を挙げた企業が 13 社のうち 10 社でもっとも多い 76.9% である。次は、「プレゼンテーション能力」（7 社）、「自分の専門分野の基本的な技能・知識」（5 社）を挙げている。「英語」と「情報処理（エクセル操作）」能力を求める企業は各々 3 社である。前回調査と比べて、「対人コミュニケーション能力」に対する要求度は同様に高いが、「プレゼンテーション能力」を求める企業の割合が多いのは特徴である。

＜類型 2 企業＞において、20 社のうち 15 社（75.0%）が「対人コミュニケーション能力」を、＜類型 3 企業＞においては、3 社すべて「対人コミュニケーション能力」を挙げている。

企業が学生に求める技能・知識として「対人コミュニケーション能力」が重要視されている様子が伺える結果である。

では、大学生本人による自分の技能・知識の自己判断をみると、約 8 割の学生が「自分の専門分野の基本的な技能・知識」を身に付けていると思っていることがわかる。また、6 割の学生は「対人コミュニケーション能力」を身に付けていると回答している。

もっとも多くの企業が「対人コミュニケーション能力」や「自分の専門分野の基本的な技能・知識」を求めている。それに対して、大学生においても「自分の専門分野の基本的な技能・知識」や「対人コミュニケーション能力」を高めるために努力している様子が伺える。

表 4-4 企業が学生に求める技能・知識と学生の自己判断

単位：％(度数)

			どのような技能・知識をもつ学生を採用したいのか？					
			英語	情報処理 (エクセル操作)	情報収集	自分の専門 分野の基本的な 技能・知識	対人 コミュニケーション 能力	プレゼンテーショ ン能力
学生回答	現在、大学生活を通じてどのような スキル(技能・知識)を身に付けて いると思うか	今回調査(N=1,034)	15.1(156)	26.8(277)	35.7(369)	79.2(819)	62.6(647)	33.2(343)
		前回調査(N=953)	16.2(154)	24.5(233)	36.8(351)	79.3(756)	61.8(589)	33.2(316)
企業回答	募集していなかった会社のうち、 来年度以降、大卒者の正社員の 採用を希望する企業	今回調査(N=13)	23.1(3)	23.1(3)	15.4(2)	38.5(5)	76.9(10)	53.9(7)
		前回調査(N=19)	21.1(4)	47.4(9)	47.4(9)	47.4(9)	89.5(17)	31.6(6)
	募集したが、応募者がなかった、 うち、来年度以降、大卒者の 正社員の採用を希望する企業	今回調査(N=20)	10.0(2)	20.0(4)	35.0(7)	55.0(11)	75.0(15)	30.0(6)
		前回調査(N=15)	20.0(3)	46.7(7)	46.7(4)	33.3(5)	80.0(12)	26.7(4)
	応募はあったが、希望する学生が いなかった、うち、来年度以降、 大卒者の正社員の採用を 希望する企業	今回調査(N=3)	33.3(1)	33.3(1)	66.7(2)	0.0(0)	100.0(3)	66.7(2)
		前回調査(N=5)	20.0(1)	80.0(4)	20.0(1)	20.0(1)	100.0(5)	20.0(1)

注：各項目を選択した企業の割合を示したものである。複数回答。

### 3-4. 採用において持っていると評価したい資格・免許の種類

表 4-5 採用において持っていると評価したい資格・免許の種類

単位：％(度数)

		採用において持っていると評価したい資格・免許の種類							
		技術関係	医療・保健 衛生・社会 福祉関係	法律・財務・経 営・不動産 関係	教育関係	事務処理 関係	営業・販売、 サービス・ 保安関係	運輸・ 通信関係	製造・電気・ 建設・土木 関連の技能 関係
募集していなかった会社のうち、 来年度以降、大卒者の正社員の 採用を希望する企業	今回調査 (N=13)	15.4(2)	23.1(3)	15.4(2)	15.4(2)	7.7(1)	23.1(3)	15.4(2)	30.8(4)
	前回調査 (N=19)	31.6(6)	10.5(3)	21.1(4)	0.0(0)	31.6(6)	26.3(5)	0.0(0)	36.8(7)
募集したが、応募者あなかった、 うち、来年度以降、大卒者の 正社員の採用を希望する企業	今回調査 (N=20)	20.0(4)	15.0(3)	15.0(3)	10.0(2)	20.0(4)	35.0(7)	10.0(2)	20.0(4)
	前回調査 (N=15)	33.3(5)	6.7(1)	20.0(3)	6.7(1)	13.3(2)	20.0(3)	0.0(0)	13.3(2)
応募はあったが、希望する学生が いなかった、うち、来年度以降、 大卒者の正社員の採用を 希望する企業	今回調査 (N=2)	0.0(0)	50.0(1)	0.0(0)	0.0(0)	50.0(1)	0.0(0)	0.0(0)	0.0(0)
	前回調査 (N=5)	60.0(3)	20.0(1)	0.0(0)	0.0(0)	20.0(1)	20.0(1)	0.0(0)	20.0(1)

注：各項目を選択した企業の割合を示したものである。複数回答。

表 4-5 には、企業側からみて、採用において持っていると評価したい資格・免許の種類を示したものである。〈類型 1 企業〉において、13 社のうち 30.8%に当たる 4 社が製造・電気・建設・土木関係を、23.1%に当たる 3 社が医療・保健衛生・社会福祉関係、営業・販売、サービス・保安関係を持っていると評価したい資格・免許として挙げている。前回調査では、19 社のうち 6 社が技術関係や事務処理関係の資格を挙げていることとは異なる傾向がみられた。〈類型 2 企業〉において、もっとも多くの企業が挙げているのは、20 社のうち 35.0%に当たる 7 社が挙げている営業・販売・サービス・保安関係の資格である。それに対して、前回調査では、15 社のうち 5 社が技術関係を挙げている。

### 3-5. 新卒者の採用選考にあたって重視すること

表 4-6 は、新卒者の採用選考にあたって重視することを企業類型別に示したものである。〈類型 1 企業〉は、13 社すべてが「就業意識・勤労意欲・チャレンジ精神」を挙げている。また、13 社のうち 12 社は「マナー・社会常識」を、13 社のうち 11 社は「コミュニケーション能力」を挙げている。その他、「柔軟な発想」を 13 社のうち 9 社が、「組織への適応性」と「体力・ストレス耐性」を 13 社のうち 6 社が挙げている。「業務に役立つ専門知識や技能」を挙げた企業は 13 社のうち 38.5%に当たる 5 社である。〈類型 2 企業〉は、20 社のうち 16 社が「コミュニケーション能力」と「マナー・社会常識」を挙げている。次に 20 社のうち 12 社が「就業意識・勤労意欲・チャレンジ精神」を挙げている。〈類型 3 企業〉の特徴は、3 社すべてが「就業意識・勤労意欲・チャレンジ精神」と「コミュニケーション能力」を採用選考にあたって重視する点としてあげている。

表 4-6 新卒者の採用選考にあたって重視すること

単位：%(度数)

		新卒者の採用選考にあたり重視する点								
		就業意識・勤労意欲・チャレンジ精神	柔軟な発想	マナー・社会常識	組織への適応性	業務に役立つ専門知識や技能	コミュニケーション能力	従順さ・会社への忠誠心	体力・ストレス耐性	
類型1企業	募集していなかった会社のうち、来年度以降、大卒者の正社員の採用を希望する企業	今回調査(N=13)	100.0(13)	69.2(9)	92.3(12)	46.2(6)	38.5(5)	84.6(11)	23.1(3)	46.2(6)
		前回調査(N=20)	95.0(19)	45.0(9)	70.0(14)	50.0(10)	25.0(5)	70.0(14)	20.0(4)	30.0(6)
類型2企業	募集したが、応募者がなかった、うち、来年度以降、大卒者の正社員の採用を希望する企業	今回調査(N=20)	60.0(12)	35.0(7)	80.0(16)	30.0(6)	35.0(7)	80.0(16)	30.0(6)	35.0(7)
		前回調査(N=15)	100.0(15)	46.7(7)	66.7(10)	66.7(10)	40.0(6)	66.7(10)	33.3(5)	46.7(7)
類型3企業	応募はあったが、希望する学生がいなかった、うち、来年度以降、大卒者の正社員の採用を希望する企業	今回調査(N=3)	100.0(3)	66.7(2)	66.7(2)	33.3(1)	0.0(0)	100.0(3)	0.0(0)	66.7(2)
		前回調査(N=5)	100.0(5)	0.0(0)	40.0(2)	40.0(2)	80.0(4)	80.0(4)	40.0(2)	20.0(1)

注：各項目を選択した企業の割合を示したものである。複数回答。

#### 4. 大学生の就職準備度

##### 4-1. 大学生の資格保有状況

本節では、大学生の就職準備度について、資格取得有無、取得している資格・免許の数および種類に焦点を当ててみていく。表 4-7 には、調査対象となった大学 3 年生の資格保有状況を示した。仕事で役立ちそうな資格・免許を持っているかという質問に対して、約 2 割の学生は持っていると回答している。74.4%は持っていないが取得したいと思うと回答しているが、3.4%の学生は取得したいと思わないと回答している。

表 4-7 大学 3 年生の資格保有状況

仕事で役立ちそうな資格・免許を持っているか？	今回調査		前回調査	
	%	度数	%	度数
持っている	21.3	220	19.9	191
持っていないが取得したいと思う	74.4	768	74.9	717
取得したいと思わない	3.4	45	5.2	50

##### 4-2. 大学生の保有資格数と資格・免許の種類

表 4-8 には、大学生の保有資格数と資格・免許の種類を示したものである。資格を持っている学生は 212 名である。保有資格数をみると、1 つ保有者は 116 名、2 つ保有者は 79 名、3 つ保有者は 17 名である。1 つ持っている場合、資格・免許の種類をみると、英語関係 (31.0%)、事務処理関係 (12.1%)、営業・販売・サービス、保安関係 (12.1%)、医療・保健衛生・社会福祉関係 (9.5%)、教育関係 (8.7%)、法律・財務・経営・不動産関係 (8.7%) の順である。

表 4-8 大学生の保有資格数と資格・免許の種類

単位: % (度数)

保有資格数	種類	技術関係	医療・保健衛生・社会福祉関係	法律・財務・経営・不動産関係	教育関係	事務処理関係	営業・販売・サービス、保安関係	運輸・通信関係	製造・電気・建設・土木関連の技能関係	英語関係 (英語検定・TOEIC)	統計関連	その他	資格を取得した学生数(人)
		1つ	今回調査	8.6(10)	9.5(11)	8.7(10)	8.7(10)	12.1(14)	12.1(14)	6.0(7)	0.0(0)	31.0(36)	1.7(2)
	前回調査	3.3(4)	13.8(17)	6.5(8)	8.1(10)	7.3(9)	0.8(1)	7.3(9)	3.3(4)	30.9(38)	0.8(1)	17.9(22)	123
2つ	今回調査	20.3(16)	12.7(10)	17.7(14)	16.5(13)	31.7(25)	13.9(11)	24.1(19)	2.5(2)	58.2(46)	1.3(1)	1.3(1)	79
	前回調査	19.0(11)	13.8(8)	15.5(9)	5.2(3)	22.4(13)	3.5(2)	10.3(6)	8.6(5)	72.4(42)	3.5(2)	25.9(15)	58
3つ	今回調査	52.9(9)	11.8(2)	5.9(1)	17.7(3)	76.5(13)	17.7(3)	17.7(3)	23.5(4)	52.9(9)	5.9(1)	17.7(3)	17
	前回調査	16.7(1)	0.0(0)	50.0(3)	16.7(1)	33.3(2)	0.0(0)	0.0(0)	0.0(0)	100(6)	16.7(1)	66.7(4)	6

注: 各項目を選択した学生の割合を示したものである。複数回答

#### 4-3. 大学生が取得を希望する資格・免許の数と種類

表 4-9 大学生が取得を希望する資格・免許

単位: %(度数)

	技術関係	医療・保健 衛生・社会 福祉関係	法律・財務・ 経営・不動産 関係	教育関係	事務処理関係	営業・販売・ サービス、保安 関係	運輸・通信 関係	製造・電気・ 建設・土木 関連の 技能関係	英語関係 (英語検定・ TOEIC)	統計関連	その他
今回調査	28.4(215)	28.6(217)	12.9(98)	23.1(175)	24.5(186)	9.6(73)	4.2(32)	8.6(65)	44.3(336)	4.2(32)	0.4(3)
前回調査	24.7(175)	26.0(184)	13.3(94)	25.0(177)	25.1(178)	9.2(65)	3.3(23)	8.1(57)	42.2(299)	5.1(36)	3.3(23)

注:各項目を選択した学生の割合を示したものである。複数回答。

表 4-9 は、現在、資格・免許を持っていない大学生が取得を希望する資格・免許を示したものである。もっとも取得希望が多いのは、英語関係で 44.3%である。医療・保健衛生・社会福祉関係 28.6%、技術関係 28.4%、事務処理関係 24.5%、教育関係 23.1%の順である。

#### 4-4. 大学生が会社選択時に重視すること

表 4-10 は、大学生が会社選択時に重視する事柄を示したものである。回答が多い順でみると、「仕事の内容・職種」が 94.2%ともっとも多く、「自分の技能・能力を活かせる」が 89.9%、「福利厚生がよい」85.6%の順である。また、「賃金の条件がよい」が 85.0%、「勤務地」が 78.5%、「勤務時間」が 77.5%で職場環境に関連した項目を重視している様子も伺える。

表 4-10 会社選択時に重視すること

単位: %(度数)

	自分の技能・ 能力を 活かせる	仕事の内容・ 職種	会社の規模・ 知名度	会社の将来性 がある	社会的意義が ある	実力主義の 会社	通勤の便利	賃金の条件が よい	勤務地	勤務時間	転勤がない・ 転勤の地域が限 定されている	福利厚生が よい
今回調査	89.9(930)	94.2(974)	36.0(372)	77.0(795)	64.1(663)	25.8(267)	70.1(730)	85.0(880)	78.5(810)	77.5(800)	54.8(566)	85.6(884)
前回調査	59.5(569)	78.0(746)	11.9(114)	34.0(325)	18.5(177)	4.4(42)	29.7(284)	60.1(284)	43.2(413)	44.3(424)	21.5(206)	45.9(439)

注:各項目において、「やや当てはまる」、「当てはまる」を選択した学生の割合を示したものである。前回調査とは集計方法が異なる。

## 5. 小括

本章では、企業はどのような人材を求めているのかを、企業が求職者に求めることと大学生の資格保有状況を手掛に検討した。結果をまとめると以下のとおりである。

第 1 に、来年度以降の大卒者を正社員として採用したいと希望している企業の多くが、大卒者を採用したい理由として挙げているのは、「大学・大学院卒業者の専門知識が必要だから」であり、次に多く挙げられた項目は「マナーや社会常識があるから」であった。大卒の求職側に求人側が求めるのは仕事をするうえでもっとも基本になる専門知識であるといえる。自分が希望する分野の専門知識を備えることの一つの方法として、就職を希望する分野と関連した資格を取得することが考えられる。ただ、資格をもつだけで、専門知識が必要な場面で適切に対応できるかという点を考慮する必要がある。もう一つ考えられるのは学生生活を営みながら、学業に励み、そこから得られた知識をもとに、インターンシップなどを通して経験を積むことも有効であろう。

第 2 に、もっとも多くの企業が大卒の求職側に「対人コミュニケーション能力」を求めていることが確認でき、これは、前回調査とも同様の傾向であった。「採用時に重視すること」に対して、10年連続で「コミュニケーション能力」が第 1 位であるという日本経済団体連合会の調査結果（中里，2015）、また、対人関係の基礎力が高い人材の要望が高い（角方，2013）ということからもわかるように、「コミュニケーション能力」は求職側にとって備えるべき必修項目であるともいえよう。

第 3 に、大卒者の採用を希望したが、公募がなかった企業が、「実績がある」ことを理由に来年度以降も大卒者の正社員採用を希望していることが確認できた。採用の実績があるからこそ、企業は継続的に大卒者の採用を希望していると解釈できよう。したがって、求職側としては、企業が要求する条件を十分に検討し、採用にむけてアクションを起こし、自ら採用されるチャンスをつかむことが重要であるといえよう。

### 【参考文献】

伊藤実(2013) 大学新卒者の就業実態と就業促進策，樋口美雄・財務省財務総合政策研究所編『若年者の雇用問題を考える』，日本経済評論社，pp. 207-232.

角方正幸(2013) 新規大卒者の就職実態と課題への対応策—大学現場でのキャリア支援を通じて—，樋口美雄・財務省財務総合政策研究所編『若年者の雇用問題を考える』，日本経済評論社，pp. 183-206.

中里弘穂(2015) キャリア形成とコミュニケーションスキル，三恵社，pp. 3-5.

## 回答者集計表



## 大学生の地元意識と就業に関する意識調査 集計表

回収率 1037/1490=0.696

問 1 あなたが今年度に受けてきた講義・演習・実習全体を通じて、農作業や文化体験、調査・企画など、地域の現場に触れて体験する機会は、どのくらいありましたか。  
あてはまるもの 1つに○をつけてください。

58.44 1. なかった  
25.94 2. 1～2 回程度、機会があった  
8.58 3. 3～5 回程度、機会があった  
6.56 4. 現場で体験する機会が、たくさんあった  
DKNA 0.48

問 2-A 「地域」と聞いてイメージする単語、フレーズを自由にお書きください。  
( )

DKNA 0.10

問 2-B 一般に「地域」と聞くとどのような対象をイメージしますか。  
あてはまるもの 1つに○をつけてください。

19.29 1. 出身地  
30.38 2. 現在、居住している地  
49.86 3. 地方部一般（出身地や居住地には限らない）  
DKNA 0.48

問 3 あなたにとっての「地域」とは、どのような範囲を指しますか。  
あてはまるものに 1つに○をつけてください。

17.55 1. 居住している町内  
26.23 2. 弘前市内  
3.95 3. 弘前市以外のつがる地域内  
9.45 4. 青森県内  
2.89 5. 東北地域  
29.41 6. 地方部一般（出身地や居住地には限らない）  
9.84 7. 自分の出身地

DKNA 0.68

問 4 あなたのご家族は、あなたの働く場所について、どのように話していますか。  
あてはまるもの 1つに○をつけてください。

- 21.50 1. 家族は、地元（家族の住む地域の近く）で、自分が働き続けることを望んでいる。  
 13.69 2. 家族は、いずれ、地元（家族の住む地域の近く）に自分が住み、働くことを望んでいる。  
 55.06 3. 家族は、自分の働く場所については、どの地域でもよい、と話している。  
 9.55 4. 仕事や居住場所について、家族と話したことは、ほとんどない。

DKNA 0.19

**問5** あなたは、現在、大学生生活を通じてどのようなスキル（技能・知識）を身に付けていると思いますか。自分自身の判断でかまいませんので、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |                        |                            |
|------------------------|----------------------------|
| 15.04 1. 英語            | 26.71 2. 情報処理（エクセル操作）      |
| 35.58 3. 情報収集          | 78.98 4. 自分の専門分野の基本的な技能・知識 |
| 62.39 5. 対人コミュニケーション能力 | 33.08 6. プレゼンテーション能力       |
| 0.19 7. その他            |                            |

DKNA 0.29

**問6** 希望する雇用形態を教えてください。  
 あてはまるもの1つに○をつけてください。

- |                       |                             |
|-----------------------|-----------------------------|
| 75.70 1. 正規雇用こだわる。    | 22.18 2. どちらかといえば正規雇用を希望する。 |
| 1.93 3. 非正規雇用でもかまわない。 |                             |

DKNA 0.19

**問7** あなたが働きたいと希望している会社の業種を教えてください。  
 あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |                  |                    |                 |
|------------------|--------------------|-----------------|
| 37.22 1. 公務      | 7.43 2. 農林漁業       | 6.17 3. 建設業     |
| 19.09 4. 製造業     | 8.20 5. 電気・ガス・水道業  | 7.52 6. 運輸・通信業  |
| 10.51 7. 卸売、小売業  | 23.34 8. サービス業     | 11.19 9. 金融・保険業 |
| 4.15 10. 不動産業    | 24.20 11. 教育・学習支援業 | 27.10 12. 医療・福祉 |
| 5.79 13. 飲食業・宿泊業 | 0.58 14. その他       |                 |

DKNA 0.68

**問8** あなたはどのような仕事をしたいと希望していますか。  
 あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |                       |                     |                  |
|-----------------------|---------------------|------------------|
| 28.93 1. 管理的な仕事       | 68.08 2. 専門的・技術的な仕事 | 36.64 3. 事務的な仕事  |
| 11.96 4. 販売の仕事        | 24.78 5. サービスの仕事    | 2.89 6. 保安の仕事    |
| 7.04 7. 生産工程の仕事       | 1.06 8. 輸送・機械運転の仕事  | 2.51 9. 建設・採掘の仕事 |
| 1.16 10. 運搬・清掃・包装等の仕事 | 0.29 11. その他の仕事     |                  |

DKNA 0.48

**問 9** あなたは現在、仕事で役立つような資格・免許を持っていますか。

持っていない方は、今後、仕事に役立つ資格・免許を取得したいと思いますか。

あてはまるもの 1つに○をつけてください。

- |                    |                          |
|--------------------|--------------------------|
| 21.22 1. 持っている     | 74.06 2. 持っていないが取得したいと思う |
| 4.34 3. 取得したいと思わない |                          |

DKNA 0.39

**問 10** 持っている資格・免許の種類は何ですか。あてはまるもの すべてに○をつけてください。

- |                           |                            |
|---------------------------|----------------------------|
| 5.98 1. 技術関係              | 4.24 2. 医療・保健衛生・社会福祉関係     |
| 3.95 3. 法律・財務・経営・不動産関係    | 4.53 4. 教育関係               |
| 9.55 5. 事務処理関係            | 10.03 6. 営業・販売、サービス、保安関係   |
| 5.69 7. 運輸・通信関係           | 0.77 8. 製造・電気・建設・土木関連の技能関係 |
| 34.91 9. 英語関係（英語検定、TOEIC） | 0.77 10. 統計関連              |
| 1.74 11. その他の資格・免許        |                            |

DKNA 0.39

**問 11** 取得したいと思う資格・免許の種類は何ですか。あてはまるもの すべてに○をつけてください。

- |                           |                            |
|---------------------------|----------------------------|
| 25.94 1. 技術関係             | 26.62 2. 医療・保健衛生・社会福祉関係    |
| 13.11 3. 法律・財務・経営・不動産関係   | 22.66 4. 教育関係              |
| 24.40 5. 事務処理関係           | 10.51 6. 営業・販売、サービス、保安関係   |
| 3.66 7. 運輸・通信関係           | 8.29 8. 製造・電気・建設・土木関連の技能関係 |
| 42.53 9. 英語関係（英語検定、TOEIC） | 4.44 10. 統計関連              |
| 0.48 11. その他の資格・免許        |                            |

DKNA 1.25

問 12 あなたが会社を選ぶとき、重視したいことについてお聞きします。

あてはまる数値に○を付けて下さい。

1=当てはまらない 2=あまり当てはまらない 3=どちらとも言えない 4=やや当てはまる 5=当てはまる

1.	自分の技能・能力が活かせる	1 (1.16)	2 (2.12)	3 (6.75)	4 (45.81)	5 (43.88)	DKNA 0.29
2.	仕事の内容・職種	1 (0.68)	2 (1.35)	3 (3.76)	4 (33.17)	5 (60.75)	DKNA 0.29
3.	会社の規模・知名度	1 (6.85)	2 (24.49)	3 (32.59)	4 (29.22)	5 (6.65)	DKNA 0.19
4.	会社の将来性がある	1 (1.35)	2 (5.30)	3 (16.30)	4 (48.89)	5 (27.77)	DKNA 0.39
5.	社会的意義がある	1 (3.57)	2 (7.33)	3 (24.88)	4 (42.53)	5 (21.41)	DKNA 0.29
6.	実力主義の会社	1 (6.65)	2 (19.96)	3 (47.44)	4 (20.44)	5 (5.30)	DKNA 0.19
7.	通勤に便利	1 (1.64)	2 (8.10)	3 (19.48)	4 (47.35)	5 (23.05)	DKNA 0.39
8.	賃金の条件がよい	1 (1.16)	2 (3.18)	3 (10.61)	4 (46.09)	5 (38.77)	DKNA 0.19
9.	勤務地	1 (2.99)	2 (5.30)	3 (13.11)	4 (42.91)	5 (35.20)	DKNA 0.48
10.	勤務時間	1 (1.35)	2 (5.11)	3 (15.91)	4 (46.29)	5 (30.86)	DKNA 0.48
11.	転勤がない・転勤の地域が限定されている	1 (7.04)	2 (12.05)	3 (25.84)	4 (34.14)	5 (20.44)	DKNA 0.48
12.	福利厚生がよい	1 (0.58)	2 (1.54)	3 (12.25)	4 (39.15)	5 (46.09)	DKNA 0.39

問 13 弘前市内・つがる地域で働くことに興味はありますか？

あてはまるもの1つに○をつけてください。

9.64 1. 積極的に働きたい 36.93 2. 条件が合えば働きたい 53.33 3. あまり働きたくない

DKNA 0.10

問 14 (6 ページ) へ

問 14 (6 ページ) へ

問 15 (7 ページ) へ

問 13 で「1. 積極的に働きたい」「2. 条件が合えば働きたい」をえらんだ方にお尋ねします。

該当者 484 人中

問 14-A 地域については、弘前市内を希望しますか。それとも、弘前市以外のつがる地域を希望しますか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

- 28.72 1. 弘前市内を希望する。
- 8.47 2. 弘前市以外のつがる地域を希望する。
- 59.30 3. どちらでもかまわない。

DKNA 3.51

問 14-B 民間企業で働くことを希望しますか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

- 24.79 1. 民間企業を希望する。
- 34.09 2. 公務員を希望する。
- 38.22 3. どちらでもかまわない。

DKNA 2.89

問 14-C 弘前市・つがる地域で働きたい理由をお知らせください。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 14.26 1. 自分の能力が活かせそうだから
- 9.30 2. 希望する企業があるから
- 32.64 3. 知人が多いから
- 25.83 4. 家族を経済的に支えたいから
- 39.05 5. 弘前市・つがる地域が好きだから
- 40.29 6. 就職後の生活が精神的に楽だと思えるから
- 3.51 7. 希望する給与や待遇が期待できるから
- 23.97 8. 都市部等、別の場所で働くのは経済的負担が大きいから
- 34.92 9. 現在住んでいるところ（大学所在地）の生活になれたから
- 9.92 10. 親と同居したいから
- 4.96 11. 親からの経済的援助が期待できるから
- 0.21 12. その他

DKNA 1.45

問 13 で「3. あまり働きたくない」をえらんだ方にお尋ねします。

該当者 554 人中

問 15-A どこで働くことを希望しますか。あてはまるもの 1つに○をつけてください。

- 3.97 1. 弘前市・つがる地域以外の青森県内 23.47 2. 青森県以外の東北地域  
 24.37 3. 北海道 38.45 4. 東京を含む関東圏  
 7.22 5. その他（内、東海地方 1.26 関西地方 1.99）

DKNA 2.53

問 15-B 弘前以外の場所で働きたい理由をお知らせください。

あてはまるもの すべてに○をつけてください。

- 16.27 1. 自分の能力が活かそうだから 32.85 2. 希望する企業があるから  
 24.37 3. 知人が多いから 22.74 4. 家族を経済的に支えたいから  
 53.97 5. その地域が好きだから  
 27.44 6. 就職後の生活が精神的に楽だと思ふから  
 24.73 7. 希望する給与や待遇が期待できるから  
 6.32 8. 弘前市・つがる地域で働くのは経済的負担が大きいから  
 29.96 9. 新しいところで生活してみたいから  
 11.01 10. 親と同居したいから  
 2.89 11. 親からの経済的援助が期待できるから  
 4.87 12. その他

DKNA 0.36

みなさんにおたずねします。

問 16 あなたは就活の一環として、次のようなプログラムを体験したことがありますか。

また、今後、希望しますか。あてはまるもの 1つに○をつけてください。

A. 職場見学	1. 体験した 29.41	2. 今後、体験することを 希望している 42.82	3. 希望してい ない 25.46	DKNA 2.31
B. インターンシッ プ（就業体験）	1. 体験した 22.95	2. 今後、体験することを 希望している 45.42	3. 希望してい ない 30.28	DKNA 1.35
C. トライアル雇用 （施行雇用）	1. 体験した 0.39	2. 今後、体験することを 希望している 23.53	3. 希望してい ない 71.45	DKNA 4.63

問 17 あなたは弘前市内の企業に関する情報をどのように入手していますか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |                          |                          |
|--------------------------|--------------------------|
| 28.25 1. 新聞・雑誌・企業のパンフレット | 53.04 2. インターネットの求人情報    |
| 6.46 3. ハローワーク、ジョブカフェなど  | 2.22 4. 民間の職業紹介所         |
| 17.84 5. 合同会社説明会のようなイベント | 43.01 6. 学校の就職支援センターなど   |
| 5.11 7. 両親の紹介            | 2.22 8. 両親以外の家族、親戚の紹介    |
| 11.09 9. 親しい友人の紹介        | 1.93 10. あまり親しくない知り合いの紹介 |
| 0.10 11. その他             |                          |

DKNA 0.29

問 18 将来の職業の第一希望は次のうちどれですか。

あてはまるもの 1つ に○をつけてください。

- |                   |                                    |              |
|-------------------|------------------------------------|--------------|
| 30.89 1. 民間企業     | 22.68 2. 公務員・公的機関                  | 15.15 3. 教育職 |
| 5.60 4. 研究職       | 21.91 5. 専門職（医師、看護師、会計士、税理士、弁護士など） |              |
| 0.19 6. 家業を継ぐ・手伝う | 1.16 7. 自分で起業する                    |              |
| 0.48 8. その他       |                                    |              |

DKNA 1.93

問 19 希望する初任給（月収）は、どの程度ですか。目安をお答えください。

（平均 20.51 万円程度 min. 10 万円程度 max. 60 万円程度 DKNA 5.40）

問 20 ある会社に次のような 2 人の課長がいます。もしあなたがつかわれるとしたら、どちらの課長につかわれる方がよいと思いますか。あてはまるもの 1つ に○をつけてください。

- |  |
|--|
| 36.64 1. 規則をまげてまで、無理な仕事をさせることはありませんが、<br>仕事以外のことでは人のめんどうを見ません  |
| 51.11 2. 時には規則をまげて、無理な仕事をさせることもありますが、<br>仕事のこと以外でも人のめんどうをよく見ます |
| 11.76 3. わからない   |

DKNA 0.48

問 21 もういちど生まれかわるとしたら、あなたは男と女の、どちらに、生まれてきたいと思いますか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

47.83 1. 男に                      31.63 2. 女に                      19.77 3. わからない

DKNA 0.77

問 22 「弘前（弘前市・つがる地域）」に対する意識についてお聞きします。

あてはまる数値に○を付けて下さい。

1=当てはまらない 2=あまり当てはまらない 3=どちらとも言えない 4=やや当てはまる 5=当てはまる

1. 私は地域の一員であると感じる

1 (13.40)    2 (27.68)    3 (28.64)    4 (21.89)    5 (7.71)    DKNA 0.68

2. 私はこの地域の将来のことが、とても気になる

1 (13.21)    2 (22.66)    3 (23.24)    4 (28.25)    5 (11.86)    DKNA 0.77

3. 私はこの地域に愛着を感じる

1 (8.20)    2 (15.43)    3 (20.93)    4 (36.16)    5 (18.23)    DKNA 1.06

4. この地域を離れることは、たとえ離れたくても、大変困難である

1 (40.98)    2 (27.87)    3 (22.28)    4 (5.30)    5 (2.80)    DKNA 0.77

5. 現在この地域にいるのは、そうしたいからであると同時に必要だからである

1 (11.57)    2 (19.86)    3 (32.40)    4 (25.84)    5 (9.64)    DKNA 0.68

さいごに、あなた自身についておたずねします。

問 23 性別

48.99 1. 男性    50.63 2. 女性

DKNA 0.39

問 24 年齢

(平均 20.97 歳    min. 20 歳    max. 40 歳    DKNA0.58 )

問 25 大学

88.43 1. 弘前大学    1.45 2. 弘前医療福祉大学    7.23 3. 東北女子大学    2.31 4. 弘前学院大学

DKNA 0.58



**問 26 学部**

〈弘前大学〉	24.11	1. 人文学部	13.89	2. 教育学部	20.35	3. 理工学部
	11.38	4. 農学生命科学部	18.71	5. 医学部		
〈弘前医療福祉大学〉	1.25	6. 保健				
〈東北福祉大学〉	7.33	7. 家政				
〈弘前学院大学〉	1.25	8. 社会福祉	1.06	9. 文		

**問 27 実家の所在地についてお知らせください。**

- 24.20 1. 北海道
- 31.63 2. 青森県（弘前市・つがる地域）
- 14.75 3. 青森県（弘前市・つがる地域以外）
- 8.29 4. 岩手県
- 6.75 5. 秋田県
- 2.60 6. 宮城県
- 0.96 7. 山形県
- 0.58 8. 福島県
- 6.65 9. 関東甲信
- 1.74 10. 東海・北陸
- 0.58 11. 近畿
- 0.10 12. 中国・四国
- 0.39 13. 九州・沖縄
- 0.19 14. 外国

DKNA 0.58

**長い間のご協力、本当にありがとうございました**

# 企業の地元大卒者の雇用実態に関する意識調査 集計表

回収率 220/483=0.455

問1 貴事務所の業種を教えてください。

0.00	1. 公務	3.18	2. 農林漁業	14.09	3. 建設業
9.55	4. 製造業	1.36	5. 電気・ガス・水道業	3.18	6. 運輸・通信業
30.91	7. 卸売、小売業	15.00	8. サービス業	3.18	9. 金融・保険業
1.36	10. 不動産業	0.45	11. 教育・学習支援業	10.00	12. 医療・福祉
5.00	13. 飲食業・宿泊業	0.91	14. その他		

DKNA 1.82

問2 貴事業所の主要な生産品又は事業の内容は何ですか。

(主要なものとは、総収入の最も多いものです。)

問3 貴事業所が属する企業全体(本社・支社・営業所・工場等を含む)の常用労働者数(注1)は何人ですか。

8.64	1. 1000人以上	3.64	2. 500~999人	2.73	3. 300~499人
6.36	4. 100~299人	8.64	5. 50~99人	6.82	6. 30~49人
53.64	7. 5~29人	7.27	8. 0~4人		

DKNA 2.27

常用労働者数(注1)

(注1) 常用労働者とは、下記の①~③のいずれかに該当する労働者のことです。

- ① 期間を定めずに雇われている者(一般にいう正社員、正職員と呼ばれている人)
- ② 一か月を超える期間を定めて雇われている者(パート、アルバイトなど)
- ③ 日々雇われている者又は一か月以上の期間を定めて雇われている者であって、平成27年10月及び11月の各月に各18日以上雇われた者。

なお、取締役、理事などの役員であって、常時勤務して一般の労働者と同じ給与規則若しくは同じ基準で毎月の給与の支

払を受けている者、事業主の家族であって、その事業所に常時勤務して給与の支払を受けている者又はパートタイム労働者は、上記①～③のいずれかに該当すれば、常用労働者です。

**問 4 弘前市内にある貴社の事業所に属する常用労働者数は何人ですか。**

- 0.45 1. 1000人以上      0.00 2. 500～999人      1.36 3. 300～499人  
 4.09 4. 100～299人      4.55 5. 50～99人      8.64 6. 30～49人  
 69.09 7. 5～29人      11.82 8. 0～4人

DKNA0.00

**問 5 弘前市内の貴事業所で、過去1年間(平成27年11月～平成28年12月)で、正社員として採用された若年労働者はいますか。採用された若年労働者がいた場合は、採用者の最終卒業学校をすべて選んで、採用人数を記入してください。**

1. 中学      (平均0.01名 min 0名 max 1名)      DKNA 0.00  
 2. 高校      (平均0.64名 min 0名 max14名)      DKNA 0.45  
 3. 短大・専門学校      (平均0.15名 min 0名 max 5名)      DKNA 0.00  
 4. 大学・大学院      (平均0.39名 min0名 max30名)      DKNA 0.00

**問 6 大学・大学院卒の採用があった企業の皆さまにお尋ねします。**

該当数 30 事業所中

**(1) 採用した社員の出身大学校の所在地を教えてください。**

- 46.67 1. 弘前市内      26.67 2. 弘前以外の青森県内  
 26.67 3. 東北圏内      16.67 4. 東京を含む関東圏  
 10.00 5. その他

DKNA 3.33

**(2) 貴事業所で採用した大学・大学院卒の学生の仕事は、次のどれに当たりますか。**

複数名を採用した場合は、あてはまる職種にいくつでも○をつけてください。

	中学卒	高卒	短大・専門学校卒	大学・大学院卒
1. 管理職	0	0	6.67	13.33
2. 専門・技術職	0	16.67	10.00	33.33
3. 事務職	0	16.67	6.67	16.67
4. 販売職	0	13.33	3.33	33.33

5. サービス職	0	6.67	0	10.00
6. 保安職	0	0	0	0
7. 生産工程	0	3.33	0	0
8. 運輸・機会運転	0	0	0	0
9. 建設・採掘	0	0	0	0
10. 運搬・清掃・包装など	0	3.33	0	0
11. その他	0	3.33	0	3.33

DKNA 3.33

問7 大学・大学院卒業者の採用がなかった企業の皆さまにお尋ねします。

該当数 190 事業所中

採用しなかった理由を教えてください。

- 67.89 1. 募集していなかった
- 20.53 2. 募集したが、応募者がなかった
- 2.63 3. 応募はあったが、希望する学生がいなかった
- 0.53 4. 内定を出したが、来てくれなかった
- 0.53 5. 希望はあったが、どのように募集すればいいかわからなかった
- 0.53 6. その他

DKNA 7.37

全ての企業の皆さまにお尋ねします。

問8 来年度以降の貴事業所では大学・大学院卒業者(大卒者)の正社員の採用を希望していますか。

- 29.55 1. 希望している ⇒問9へ
- 70.45 2. 希望していない ⇒問10(6ページ)へ

DKNA 0.00

問9 該当数 65 事業所中

(1) 大学・大学院卒業者(大卒者)の正社員の採用を希望する理由を教えてください。

あてはまるものすべてに○をしてください。

- 29.23 1. 実績があるから
- 46.15 2. 大学・大学院卒業者の専門知識が必要だから
- 26.15 3. 大学・大学院卒業者の就業意識が高いから
- 43.08 4. マナーや社会常識があるから
- 33.85 5. コミュニケーション能力が高いから
- 0.00 6. その他

## (2) どのような職種での採用を希望していますか。

- |                       |                    |
|-----------------------|--------------------|
| 18.46 1. 管理職          | 41.54 2. 専門的・技術的職業 |
| 23.08 3. 事務的職業        | 35.38 4. 販売の職業     |
| 21.54 5. サービスの職業      | 3.08 6. 保安の職業      |
| 3.08 7. 農林漁業の職業       | 1.54 8. 生産工程の職業    |
| 1.54 9. 運輸・機会運転の職業    | 3.08 10. 建設・採掘の職業  |
| 0.00 11. 運搬・清掃・包装等の職業 | 0.00 12. 特になし      |

DKNA 1.54

## (3) どのような技能・知識を持つ学生を採用したいですか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |                        |                            |
|------------------------|----------------------------|
| 12.31 1. 英語            | 20.00 2. 情報処理(エクセル操作)      |
| 27.69 3. 情報収集          | 41.54 4. 自分の専門分野の基本的な技能・知識 |
| 76.92 5. 対人コミュニケーション能力 | 38.46 6. プレゼンテーション能力       |
| 0.00 7. その他            |                            |

DKNA 4.62

## (4) 採用において持っていると評価したい資格・免許の種類は何ですか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |                         |                             |
|-------------------------|-----------------------------|
| 20.00 1. 技術関係           | 13.85 2. 医療・保健衛生・社会福祉関係     |
| 15.38 3. 法律・財務・経営・不動産関係 | 6.15 4. 教育関係                |
| 16.92 5. 事務処理関係         | 26.15 6. 営業・販売、サービス、保安関係    |
| 10.77 7. 運輸・通信関係        | 23.08 8. 製造・電気・建設・土木関連の技能関係 |
| 0.00 9. その他の資格・免許       | 20.31 10. 特になし              |

DKNA 6.25

## (5) 貴事業所で大卒者を受け入れるために実施しているものはありますか。

今後、実施する予定または希望はありますか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

<b>A. 職場見学</b>	1. 実施中 33.85	2. 今後、実施することを 検討中 18.46	3. 実施予定はない 30.77	DKNA 16.92
<b>B. インターンシ ップ(就業体験)</b>	1. 実施中 32.31	2. 今後、実施することを 検討中 20.00	3. 実施予定はない 35.38	DKNA 12.31
<b>C. トライアル雇用 雇用(施行雇用)</b>	1. 実施中 3.08	2. 今後、実施することを 検討中 21.54	3. 実施予定はない 47.69	DKNA 27.69

- (6) 貴事業所では新卒者の採用選考にあたりどのような点を重視しますか。  
あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |       |                      |       |                |
|-------|----------------------|-------|----------------|
| 78.46 | 1. 就業意識・勤労意欲・チャレンジ精神 | 50.77 | 2. 柔軟な発想       |
| 72.31 | 3. マナー・社会常識          | 35.38 | 4. 組織への適応性     |
| 35.38 | 5. 業務に役立つ専門知識や技能     | 78.46 | 6. コミュニケーション能力 |
| 20.00 | 7. 従順さ・会社への忠誠心       | 38.46 | 8. 体力・ストレス耐性   |
| 0.00  | 9. その他               | 1.54  | 10. 特になし       |

DKNA 3.08

問 10 大卒者の採用を「希望していない」という回答の場合におたずねします。

該当数 155 事業所中

- (1) 希望していない理由はどのようなものでしょうか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |       |                         |
|-------|-------------------------|
| 43.23 | 1. これまで実績がない            |
| 32.26 | 2. 採用者の希望する給料が支払えない     |
| 58.06 | 3. とくに大卒者の能力を必要としない     |
| 3.87  | 4. 来てくれなかったのであきらめている    |
| 4.52  | 5. どのように募集すればいいのかが分からない |
| 6.45  | 6. 大学とのネットワークがない        |
| 1.29  | 7. 募集手続きが難しそうだから        |

DKNA 2.58

- (2) もし、大卒者を採用しようとする場合、どのような技能・知識を持つ学生を採用したいですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |       |                  |       |                      |
|-------|------------------|-------|----------------------|
| 3.23  | 1. 英語            | 20.00 | 2. 情報処理(エクセル操作)      |
| 16.77 | 3. 情報収集          | 37.42 | 4. 自分の専門分野の基本的な技能・知識 |
| 56.77 | 5. 対人コミュニケーション能力 | 12.90 | 6. プレゼンテーション能力       |
| 0.00  | 7. その他           |       |                      |

DKNA 7.10

- (3) その際、貴事業所では新卒者の採用選考にあたりどのような点を重視したいですか。  
あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |       |                      |       |            |
|-------|----------------------|-------|------------|
| 68.39 | 1. 就業意識・勤労意欲・チャレンジ精神 | 36.13 | 2. 柔軟な発想   |
| 66.45 | 3. マナー・社会常識          | 39.35 | 4. 組織への適応性 |

34.19 5. 業務に役立つ専門知識や技能  
25.81 7. 従順さ・会社への忠誠心  
0.00 9. その他

59.35 6. コミュニケーション能力  
39.35 8. 体力・ストレス耐性  
1.94 10. 特になし

DKNA7.74

**長い間のご協力、本当にありがとうございました**

# 回答者用質問紙



# 大学生の地元意識と就業に関する意識調査

弘前大学地域未来創生センター

この調査は、弘前大学地域未来創生センターと弘前市との共同調査・研究事業の一環として行うもので、弘前市内の大学に在学中の大学生の皆さまの地元意識と就業に関する意識について調査し、若年者の県外流出を抑制し、地元定着を促進するための対策を講ずるべく、その基礎資料として利用するものです。この調査の結果や内容は統計的に処理し、地域全体としての傾向を把握することだけを目的として利用されますので、皆様のご回答が個々に分析されることは絶対にありません。

お忙しい中、誠に恐縮ですが、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

## ご記入にあたってのお願い

1. 2016年11月時点でお答え下さい。
2. 回答は、あなたご自身に当てはまる選択肢を選び、番号を○で囲んでいただく形式がほとんどです。設問によっては直接ご記入をいただいたり、具体的な内容を文章でご記入いただくところもあります。
3. ご記入済みのアンケート用紙は、同封しました返信用封筒に入れて提出してください。

**教員がゼミナール単位で回収し、**

**2016年12月16日（金）までに**

**各学部の教務担当（学務係）に提出**いただきますようお願いいたします。

4. 本調査についてご不明な点がございましたら、電話やメールにて下記にお問い合わせ下さい。

弘前大学地域未来創生センター

電話・ファクス : 0172-39-3198

E-mail : irrc@hirosaki-u.ac.jp

お電話の受付は月曜日から金曜日の10時より17時までとなっております。

なにとぞご了承ください

○この調査に含まれている内容以外で、政府や行政、当センターへのご意見、ご要望がございましたら、この欄にお書きください。

問1 あなたが今年度に受けてきた講義・演習・実習全体を通じて、農作業や文化体験、調査・企画など、地域の現場に触れて体験する機会は、どのくらいありましたか。  
あてはまるもの 1つに○をつけてください。

- |                  |                       |
|------------------|-----------------------|
| 1. なかった          | 2. 1～2回程度、機会があった      |
| 3. 3～5回程度、機会があった | 4. 現場で体験する機会が、たくさんあった |

問2-A 「地域」と聞いてイメージする単語、フレーズを自由にお書きください。  
( )

問2-B 一般に「地域」と聞くとどのような対象をイメージしますか。  
あてはまるもの 1つに○をつけてください。

- |                         |               |
|-------------------------|---------------|
| 1. 出身地                  | 2. 現在、居住している地 |
| 3. 地方部一般（出身地や居住地には限らない） |               |

問3 あなたにとっての「地域」とは、どのような範囲を指しますか。  
あてはまるものに 1つに○をつけてください。

- |                 |                         |
|-----------------|-------------------------|
| 1. 居住している町内     | 2. 弘前市内                 |
| 3. 弘前市以外のつがる地域内 | 4. 青森県内                 |
| 5. 東北地域         | 6. 地方部一般（出身地や居住地には限らない） |
| 7. 自分の出身地       |                         |

問4 あなたのご家族は、あなたの働く場所について、どのように話していますか。  
あてはまるもの 1つに○をつけてください。

1. 家族は、地元（家族の住む地域の近く）で、自分が働き続けることを望んでいる。
2. 家族は、いずれ、地元（家族の住む地域の近く）に自分が住み、働くことを望んでいる。
3. 家族は、自分の働く場所については、どの地域でもよい、と話している。
4. 仕事や居住場所について、家族と話したことは、ほとんどない。

問5 あなたは、現在、大学生活を通じてどのようなスキル（技能・知識）を身に付けていると思いますか。自分自身の判断でかまいませんので、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |                  |                      |
|------------------|----------------------|
| 1. 英語            | 2. 情報処理（エクセル操作）      |
| 3. 情報収集          | 4. 自分の専門分野の基本的な技能・知識 |
| 5. 対人コミュニケーション能力 | 6. プレゼンテーション能力       |
| 7. その他（具体的に      | ）                    |

問6 希望する雇用形態を教えてください。  
あてはまるもの1つに○をつけてください。

- |                  |                       |
|------------------|-----------------------|
| 1. 正規雇用こだわる。     | 2. どちらかといえば正規雇用を希望する。 |
| 3. 非正規雇用でもかまわない。 |                       |

問7 あなたが働きたいと希望している会社の業種を教えてください。  
あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |              |              |           |             |              |
|--------------|--------------|-----------|-------------|--------------|
| 1. 公務        | 2. 農林漁業      | 3. 建設業    | 4. 製造業      | 5. 電気・ガス・水道業 |
| 6. 運輸・通信業    | 7. 卸売、小売業    | 8. サービス業  | 9. 金融・保険業   |              |
| 10. 不動産業     | 11. 教育・学習支援業 | 12. 医療・福祉 | 13. 飲食業・宿泊業 |              |
| 14. その他（具体的に |              |           |             | ）            |

問8 あなたはどのような仕事をしたいと希望していますか。  
あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |                 |               |                  |          |
|-----------------|---------------|------------------|----------|
| 1. 管理的な仕事       | 2. 専門的・技術的な仕事 | 3. 事務的な仕事        | 4. 販売の仕事 |
| 5. サービスの仕事      | 6. 保安の仕事      | 7. 生産工程の仕事       |          |
| 8. 輸送・機械運転の仕事   | 9. 建設・採掘の仕事   | 10. 運搬・清掃・包装等の仕事 |          |
| 11. その他の仕事（具体的に |               |                  | ）        |

問9 あなたは現在、仕事で役立つような資格・免許を持っていますか。  
持っていない方は、今後、仕事に役立つ資格、免許を取得したいと思いますか。  
あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 持っている
2. 持っていないが取得したいと思う
3. 取得したいと思わない

問10 持っている資格・免許の種類は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 技術関係
2. 医療・保健衛生・社会福祉関係
3. 法律・財務・経営・不動産関係
4. 教育関係
5. 事務処理関係
6. 営業・販売、サービス、保安関係
7. 運輸・通信関係
8. 製造・電気・建設・土木関連の技能関係
9. 英語関係（英語検定、TOEIC）
10. 統計関連
11. その他の資格・免許（具体的に )

問11 取得したいと思う資格・免許の種類は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 技術関係
2. 医療・保健衛生・社会福祉関係
3. 法律・財務・経営・不動産関係
4. 教育関係
5. 事務処理関係
6. 営業・販売、サービス、保安関係
7. 運輸・通信関係
8. 製造・電気・建設・土木関連の技能関係
9. 英語関係（英語検定、TOEIC）
10. 統計関連
11. その他の資格・免許（具体的に )

問 12 あなたが会社を選ぶとき、重視したいことについてお聞きします。

あてはまる数値に○を付けて下さい。

	あてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない	ややあてはまる	あてはまる
1. 自分の技能・能力が活かせる	1	2	3	4	5
2. 仕事の内容・職種	1	2	3	4	5
3. 会社の規模・知名度	1	2	3	4	5
4. 会社の将来性がある	1	2	3	4	5
5. 社会的意義がある	1	2	3	4	5
6. 実力主義の会社	1	2	3	4	5
7. 通勤に便利	1	2	3	4	5
8. 賃金の条件がよい	1	2	3	4	5
9. 勤務地	1	2	3	4	5
10. 勤務時間	1	2	3	4	5
11. 転勤がない・転勤の地域が限定されている	1	2	3	4	5
12. 福利厚生がよい	1	2	3	4	5

問 13 弘前市内・つがる地域で働くことに興味はありますか？

あてはまるもの 1つ に○をつけてください。

1. 積極的に働きたい      2. 条件が合えば働きたい      3. あまり働きたくない
- 問 14 (5 ページ) へ      問 14 (5 ページ) へ      問 15 (6 ページ) へ

問 13 で「1. 積極的に働きたい」「2. 条件が合えば働きたい」をえらんだ方にお尋ねします。

問 14-A 地域については、弘前市内を希望しますか。それとも、弘前市以外のつがる地域を希望しますか。あてはまるもの 1 つ に○をつけてください。

1. 弘前市内を希望する。
2. 弘前市以外のつがる地域を希望する。
3. どちらでもかまわない。

問 14-B 民間企業で働くことを希望しますか。あてはまるもの 1 つ に○をつけてください。

1. 民間企業を希望する。
2. 公務員を希望する。
3. どちらでもかまわない。

問 14-C 弘前市・つがる地域で働きたい理由をお知らせください。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 自分の能力が活かそうだから
2. 希望する企業があるから
3. 知人が多いから
4. 家族を経済的に支えたいから
5. 弘前市・つがる地域が好きだから
6. 就職後の生活が精神的に楽だと思ふから
7. 希望する給与や待遇が期待できるから
8. 都市部等、別の場所で働くのは経済的負担が大きいから
9. 現在住んでいるところ（大学所在地）の生活になれたから
10. 親と同居したいから
11. 親からの経済的援助が期待できるから
12. その他（具体的に

問 13 で「3. あまり働きたくない」をえらんだ方にお尋ねします。

問 15-A どこで働くことを希望しますか。あてはまるもの 1 つ に○をつけてください。

- |                     |               |
|---------------------|---------------|
| 1. 弘前市・つがる地域以外の青森県内 | 2. 青森県以外の東北地域 |
| 3. 北海道              | 4. 東京を含む関東圏   |
| 5. その他 ( )          |               |

問 15-B 弘前以外の場所で働きたい理由をお知らせください。

あてはまるもの すべて に○をつけてください。

1. 自分の能力が活かそうだから
2. 希望する企業があるから
3. 知人が多いから
4. 家族を経済的に支えたいから
5. その地域が好きだから
6. 就職後の生活が精神的に楽だと思ふから
7. 希望する給与や待遇が期待できるから
8. 弘前市・つがる地域で働くのは経済的負担が大きいから
9. 新しいところで生活してみたいから
10. 親と同居したいから
11. 親からの経済的援助が期待できるから
12. その他 (具体的に )

みなさんにお尋ねします。

問 16 あなたは就活の一環として、次のようなプログラムを体験したことがありますか。  
また、今後、希望しますか。あてはまるもの 1つに○をつけてください。

A. 職場見学	1. 体験した	2. 今後、体験することを希望している	3. 希望していない
B. インターンシップ (就業体験)	1. 体験した	2. 今後、体験することを希望している	3. 希望していない
C. トライアル雇用 (施行雇用)	1. 体験した	2. 今後、体験することを希望している	3. 希望していない

問 17 あなたは弘前市内の企業に関する情報をどのように入手していますか。  
あてはまるもの すべてに○をつけてください。

1. 新聞・雑誌・企業のパンフレット
2. インターネットの求人情報
3. ハローワーク、ジョブカフェなど
4. 民間の職業紹介所
5. 合同会社説明会のようなイベントで
6. 学校の就職支援センターなど
7. 両親の紹介
8. 両親以外の家族、親戚の紹介
9. 親しい友人の紹介
10. あまり親しくない知り合いの紹介
11. その他（具体的に )

問 18 将来の職業の第一希望は次のうちどれですか。  
あてはまるもの 1つに○をつけてください。

1. 民間企業
2. 公務員・公的機関
3. 教育職
4. 研究職
5. 専門職（医師、看護師、会計士、税理士、弁護士など）
6. 家業を継ぐ・手伝う
7. 自分で起業する
8. その他（ )



問 19 希望する初任給（月収）は、どの程度ですか。目安をお答えください。

（                      万円程度）

問 20 ある会社に次のような 2 人の課長がいます。もしあなたがつかわれるとしたら、どちらの課長につかわれる方がよいと思いますか。あてはまるもの 1 つ に○をつけてください。

1. 規則をまげてまで、無理な仕事をさせることはありませんが、  
仕事以外のことでは人のめんどうを見ません
2. 時には規則をまげて、無理な仕事をさせることもありますが、  
仕事のこと以外でも人のめんどうをよく見ます
3. わからない

問 21 もういちど生まれかわるとしたら、あなたは男と女の、どちらに、生まれたいと思いますか。あてはまるもの 1 つ に○をつけてください。

1. 男に
2. 女に
3. わからない

問 22 「弘前（弘前市・つがる地域）」に対する意識についてお聞きします。

あてはまる数値に○を付けて下さい。

	あてはまらない	あまり あてはまらない	どちらとも いえない	やや あてはまる	あてはまる
1. 私は地域の一人であると感じる	1.....	2.....	3.....	4.....	5.....
2. 私はこの地域の将来のことが、とても気になる	1.....	2.....	3.....	4.....	5.....
3. 私はこの地域に愛着を感じる	1.....	2.....	3.....	4.....	5.....
4. この地域を離れることは、たとえ離れたくても、大変困難 である	1.....	2.....	3.....	4.....	5.....
5. 現在この地域にいるのは、そうしたいからであると同時に 必要だからである	1.....	2.....	3.....	4.....	5.....

さいごに、あなた自身についておたずねします。

問 23 性別

1. 男性                      2. 女性

問 24 年齢

(                      ) 歳

問 25 大学

(                      ) 大学

問 26 学部

(                      ) 学部

問 27 実家の所在地についてお知らせください。

1. 北海道  
2. 青森県（弘前市・つがる地域）      3. 青森県（弘前市・つがる地域以外）  
4. 岩手県                      5. 秋田県                      6. 宮城県                      7. 山形県                      8. 福島県  
9. 関東甲信                      10. 東海・北陸                      11. 近畿                      12. 中国・四国                      13. 九州・沖縄  
14. 外国

**長い間のご協力、本当にありがとうございました**

# 企業の地元大卒者の雇用実態に関する意識調査

弘前大学地域未来創生センター

この調査は、弘前大学地域未来創生センターと弘前市との共同調査・研究事業の一環として行うもので、弘前市内にある企業の皆さまの地元大学卒業者の雇用実態に関する意識について調査し、若年者の県外流出を抑制し、地元定着を促進するための対策を講ずるべく、その基礎資料として利用するものです。この調査の結果や内容は統計的に処理し、地域全体としての傾向を把握することだけを目的として利用されますので、皆様のご回答が個々に分析されることは絶対にありません。

お忙しい中、誠に恐縮ですが、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

## ご記入にあたってのお願い

1. 2016年12月時点でお答え下さい。
2. 回答は、あなたご自身に当てはまる選択肢を選び、番号を○で囲んでいただく形式がほとんどです。設問によっては直接ご記入をいただいたり、具体的な内容を文章でご記入いただくところもあります。
3. ご記入済みのアンケート用紙は、同封しました返信用封筒に入れて、

**2016年12月28日(水)までに**

投函いただけますようお願いいたします。

4. 本調査についてご不明な点がございましたら、電話やメールにて下記にお問い合わせ下さい。

弘前大学地域未来創生センター

電話・ファクス : 0172-39-3198

E-mail : irrc@hirosaki-u.ac.jp

お電話の受付は月曜日から金曜日の10時より17時までとなっております。

なにとぞご了承ください

○この調査に含まれている内容以外で、政府や行政、当センターへのご意見、ご要望がございましたら、この欄にお書きください。

**問 1 貴事務所の業種を教えてください。**

- |           |              |           |             |              |
|-----------|--------------|-----------|-------------|--------------|
| 1. 公務     | 2. 農林漁業      | 3. 建設業    | 4. 製造業      | 5. 電気・ガス・水道業 |
| 6. 運輸・通信業 | 7. 卸売、小売業    | 8. サービス業  | 9. 金融・保険業   |              |
| 10. 不動産業  | 11. 教育・学習支援業 | 12. 医療・福祉 | 13. 飲食業・宿泊業 |              |
| 14. その他   |              |           |             |              |

**問 2 貴事業所の主要な生産品又は事業の内容は何ですか。**

(主要なものとは、総収入の最も多いものです。)

---

**問 3 貴事業所が属する企業全体(本社・支社・営業所・工場等を含む)の常用労働者数(注1)は何人ですか。**

- |             |             |             |
|-------------|-------------|-------------|
| 1. 1000人以上  | 2. 500～999人 | 3. 300～499人 |
| 4. 100～299人 | 5. 50～99人   | 6. 30～49人   |
| 7. 5～29人    | 8. 0～4人     |             |

常用労働者数(注1)

(注1) 常用労働者とは、下記の①～③のいずれかに該当する労働者のことです。

- ① 期間を定めずに雇われている者(一般にいう正社員、正職員と呼ばれている人)
- ② 一か月を超える期間を定めて雇われている者(パート、アルバイトなど)
- ③ 日々雇われている者又は一か月以上の期間を定めて雇われている者であって、平成27年10月及び11月の各月に各18日以上雇われた者。

なお、取締役、理事などの役員であって、常時勤務して一般の労働者と同じ給与規則若しくは同じ基準で毎月の給与の支払を受けている者、事業主の家族であって、その事業所に常時勤務して給与の支払を受けている者又はパートタイム労働者は、上記①～③のいずれかに該当すれば、常用労働者です。

問 4 弘前市内にある貴社の事業所に属する常用労働者数は何人ですか。

1. 1000人以上      2. 500～999人      3. 300～499人      4. 100～299人  
 5. 50～99人      6. 30～49人      7. 5～29人      8. 0～4人

問 5 弘前市内の貴事業所で、過去1年間(平成27年11月～平成28年12月)で、正社員として採用された若年労働者はいますか。採用された若年労働者がいた場合は、採用者の最終卒業学校をすべて選んで、採用人数を記入してください。

1. 中学 (      名)      2. 高校 (      名)  
 3. 短大・専門学校(      名)      4. 大学・大学院 (      名)

問 6 大学・大学院卒の採用があった企業の皆さまにお尋ねします。

(1) 採用した社員の出身大学校の所在地を教えてください。

1. 弘前市内      2. 弘前以外の青森県内  
 3. 東北圏内      4. 東京を含む関東圏  
 5. その他(具体的に      )

(2) 貴事業所で採用した大学・大学院卒の学生の仕事は、次のどれに当たりますか。

複数名を採用した場合は、あてはまる職種にいくつでも○をつけてください。

	中学卒	高卒	短大・専門学校卒	大学・大学院卒
1. 管理職				
2. 専門・技術職				
3. 事務職				
4. 販売職				
5. サービス職				
6. 保安職				
7. 生産工程				
8. 運輸・機会運転				
9. 建設・採掘				
10. 運搬・清掃・包装など				
11. その他				

問7 **大学・大学院卒業者の採用がなかった企業の皆さまにお尋ねします。**

採用しなかった理由を教えてください。

1. 募集していなかった
2. 募集したが、応募者がなかった
3. 応募はあったが、希望する学生がいなかった
4. 内定を出したが、来てくれなかった
5. 希望はあったが、どのように募集すればいいか分からなかった
6. その他(具体的に )

**全ての企業の皆さまにお尋ねします。**

問8 来年度以降の貴事業所では大学・大学院卒業者(大卒者)の正社員の採用を希望していますか。

1. 希望している ⇒問9へ
2. 希望していない ⇒問10(5ページ)へ

問9 (1) 大学・大学院卒業者(大卒者)の正社員の採用を希望する理由を教えてください。

あてはまるものすべてに○をしてください。

1. 実績があるから
2. 大学・大学院卒業者の専門知識が必要だから
3. 大学・大学院卒業者の就業意識が高いから
4. マナーや社会常識があるから
5. コミュニケーション能力が高いから
6. その他(具体的に )

(2) どのような職種での採用を希望していますか。

- |              |                  |               |
|--------------|------------------|---------------|
| 1. 管理職       | 2. 専門的・技術的職業     | 3. 事務的職業      |
| 4. 販売の職業     | 5. サービスの職業       | 6. 保安の職業      |
| 7. 農林漁業の職業   | 8. 生産工程の職業       | 9. 運輸・機会運転の職業 |
| 10. 建設・採掘の職業 | 11. 運搬・清掃・包装等の職業 | 12. 特になし      |

(3) どのような技能・知識を持つ学生を採用したいですか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |                  |                      |
|------------------|----------------------|
| 1. 英語            | 2. 情報処理(エクセル操作)      |
| 3. 情報収集          | 4. 自分の専門分野の基本的な技能・知識 |
| 5. 対人コミュニケーション能力 | 6. プレゼンテーション能力       |
| 7. その他(具体的に      | )                    |

(4) 採用において持っていると評価したい資格・免許の種類は何ですか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |                    |                       |                    |
|--------------------|-----------------------|--------------------|
| 1. 技術関係            | 2. 医療・保健衛生・社会福祉関係     | 3. 法律・財務・経営・不動産関係  |
| 4. 教育関係            | 5. 事務処理関係             | 6. 営業・販売、サービス、保安関係 |
| 7. 運輸・通信関係         | 8. 製造・電気・建設・土木関連の技能関係 |                    |
| 9. その他の資格・免許 (具体的に |                       | )                  |
| 10. 特になし           |                       |                    |

(5) 貴事業所で大卒者を受け入れるために実施しているものはありますか。

今後、実施する予定または希望はありますか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

<b>A. 職場見学</b>	1. 実施中	2. 今後、実施すること を検討中	3. 実施予定はない
<b>B. インターンシップ (就業体験)</b>	1. 実施中	2. 今後、実施すること を検討中	3. 実施予定はない
<b>C. トライアル雇用雇用 (施行雇用)</b>	1. 実施中	2. 今後、実施すること を検討中	3. 実施予定はない

(6) 貴事業所では新卒者の採用選考にあたりどのような点を重視しますか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |                      |                |
|----------------------|----------------|
| 1. 就業意識・勤労意欲・チャレンジ精神 | 2. 柔軟な発想       |
| 3. マナー・社会常識          | 4. 組織への適応性     |
| 5. 業務に役立つ専門知識や技能     | 6. コミュニケーション能力 |
| 7. 従順さ・会社への忠誠心       | 8. 体力・ストレス耐性   |
| 9. その他(              | ) 10. 特になし     |

問 10 大卒者の採用を「希望していない」という回答の場合におたずねします。

(1) 希望していない理由はどのようなものでしょうか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. これまで実績がない
2. 採用者の希望する給料が支払えない
3. とくに大卒者の能力を必要としない
4. 来てくれなかったのであきらめている
5. どのように募集すればいいのかが分からない
6. 大学とのネットワークがない
7. 募集手続きが難しそうだから

(2) (大卒者を採用する場合) どのような技能・知識を持つ学生を採用したいですか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 英語
2. 情報処理(エクセル操作)
3. 情報収集
4. 自分の専門分野の基本的な技能・知識
5. 対人コミュニケーション能力
6. プレゼンテーション能力
7. その他(具体的に )

(3) 貴事業所では新卒者の採用選考にあたりどのような点を重視しますか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 就業意識・勤労意欲・チャレンジ精神
2. 柔軟な発想
3. マナー・社会常識
4. 組織への適応性
5. 業務に役立つ専門知識や技能
6. コミュニケーション能力
7. 従順さ・会社への忠誠心
8. 体力・ストレス耐性
9. その他( )
10. 特になし

長い間のご協力、本当にありがとうございました



## 執筆担当者

氏名	所属	担当章
李永俊	弘前大学	第1章
	人文社会科学部 教授・地域未来創生センター長	第2章
日比野愛子	弘前大学	第3章
	人文社会科学部 准教授	
李秀眞	弘前大学	第4章
	教育学部 准教授	
山口紘史	弘前大学	集計表
	人文学部 4年生	

平成28年度  
弘前市・つがる地域の大学生・企業の  
就職に関する意識調査報告書

2017年6月  
編集

弘前大学人文社会科学部  
地域未来創生センター  
〒036-8560 青森県弘前市文京町1  
電話 0172-39-3198  
Email: irrc@hirosaki-u.ac.jp  
<http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/irrc/>

